

AI 画像判定サービス

MMEye 



Y's-Eye



クラウドユーザーズマニュアル

## 目次

目次.....	2
変更履歴.....	3
ご注意.....	4
第1章 はじめに.....	5
1.1 動作環境.....	5
1.2 記載上の凡例.....	5
第2章 画面一覧.....	6
第3章 ログイン.....	7
3.1 ログイン画面.....	7
3.2 ログインの失敗.....	8
第4章 表示画面の構成.....	9
4.1 画面の全体構成.....	9
第5章 モデル一覧画面.....	10
第6章 モデル詳細画面.....	12
6.1 学習タブ.....	12
6.2 検証タブ.....	16
6.3 検証結果タブ.....	18
第7章 モデル作成手順.....	24
7.1 モデルを新規に作成するには.....	24
7.2 既存モデルをコピーして新しいモデルを作成するには.....	34
7.3 ラベル名称の一括変更や一括削除を行うには.....	36
7.4 複数画像へのラベル一括設定や一括削除を行うには.....	36
第8章 モデル検証手順.....	37
第9章 ユーザー一覧画面.....	42
第10章 ユーザ作成手順.....	44
10.1 ユーザを新規に作成するには.....	44
10.2 ユーザ情報を編集するには.....	47
10.3 【システム管理者のみ】他ユーザのパスワード再発行、ユーザ情報削除するには.....	50
第11章 ライセンス情報.....	51
11.1 ライセンス確認操作.....	51
第12章 ログアウト.....	53
12.1 ログアウト操作.....	53
付録1 セグメンテーション学習画像作成手順.....	54

## 変更履歴

版数	日付	変更内容
1.00	2018/12/12	新規作成
1.01	2019/03/01	社名変更に伴う変更
1.02	2019/03/05	ライセンス情報画面追加 4. 1 画面の全体構成 第 1 1 章 ライセンス情報画面 検証結果画像拡大表示機能追加 6. 3 検証結果タブ
1.03	2019/04/08	異常検知はカスタマイズ機能として、記載削除
1.04	2019/05/31	検証結果ダウンロード機能に関する記載を追加 6. 3 検証結果タブ 6. 3. 2 検証結果フォーマット ファイル名表示機能を反映 6. 1 学習タブ ラベル登録時の拡張機能に関する記載を追加 7. 1 モデルを新規に作成するには
1.05	2019/06/17	推論結果 NG 定義ファイルに関する記載を追加 6. 1 学習タブ 6. 1. 1 推論結果 NG 定義ファイル
1.06	2019/10/30	Y's-Eye 併記に伴う更新
1.07	2019/12/27	分析パターン：セグメンテーション追加に伴う更新 6. 1 学習タブ 6. 3 検証結果タブ 6. 3. 1 結果表示 6. 3. 2 検証結果フォーマット 7. 1 モデルを新規に作成するには 第 8 章 モデル検証手順 1 1. 1 ライセンス確認操作 付録 1 セグメンテーション学習画像作成手順
1.08	2020/03/11	学習時の教師画像、ラベル付与についての注意点追記 6. 1 学習タブ 付録 1 セグメンテーション学習画像作成手順
1.09	2020/4/16	誤記修正

## ご注意

1. 本製品の仕様およびマニュアルに記載されている内容は、バージョンアップ等に伴い、予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
2. マニュアルの内容には万全を期しておりますが、万一技術的もしくは校正上の誤りやお気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
3. 2.に関わらず、マニュアルの適用の結果生じた間接損害を含め、いかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。
4. このマニュアルの内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
5. 本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、販売店または弊社営業までお問い合わせください。
6. 本製品を使用して収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。
7. 弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
8. 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
9. 本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

マニュアルに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

© 2018-2020 YE DIGITAL CORPORATION

## 第1章 はじめに

本マニュアルは、MMEye/Y's-Eye をご契約いただいたお客様が、クラウドシステムを使用する上で必要な設定方法、及び操作方法についてまとめたものです。

### 1. 1 動作環境

使用するには、以下の動作環境が必要です。

No.	項目	仕様
1	ブラウザ	(1)Google Chrome (2)Microsoft Edge (3)Microsoft Internet Explorer 11 (互換表示及び Modern UI 版は未対応) ※いずれもデスクトップ版のみに対応しており、タブレットは非対応です。
2	解像度	1366×768 以上推奨
3	言語	日本語
4	対応 OS	Windows 7/Windows 10

### 1. 2 記載上の凡例

マニュアル記載の用語は、記載方法の統一のため、以下のルールで記載しています。

No.	項目	仕様
1	[ 画面名 ]	画面を示す単語の場合、[ ]で囲んで表記します。 例 : [モデル一覧]など
2	" 表示名 "	画面内に表示された単語や項目などは" "で囲んで表記します。 また、画面内の表示などは[画面名]:"表示名"と記載します。 例 : [モデル詳細(学習)]:"モデル"など
3	< 操作名 >	マウスなどでクリックし、操作するようなボタンは< >で囲んで表記します。 例 : <学習開始>など

## 第2章 画面一覧

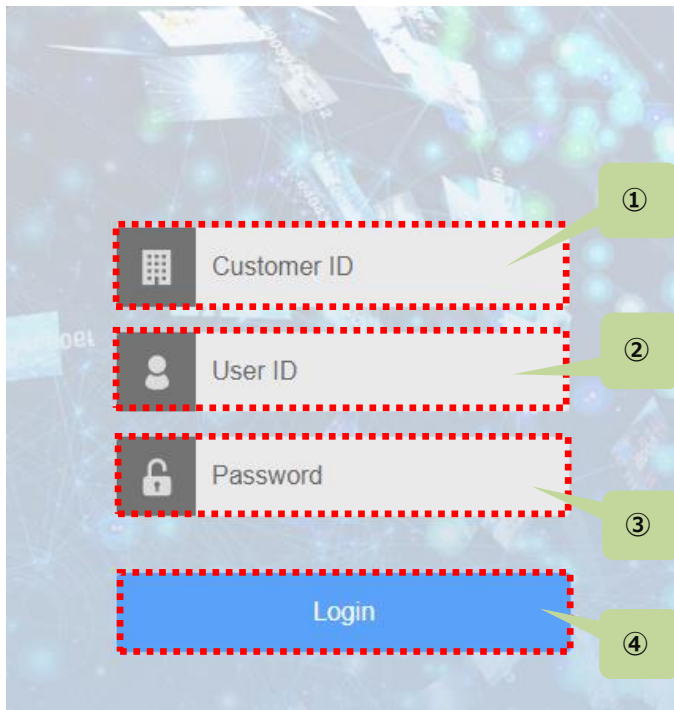
No.	画面名		概要
1	ログイン		最初に表示される画面です。 正しい Customer ID、User ID、Password を入力することで、本システムを利用できるようになります。
2	モデル一覧		モデルの一覧を表示します。 モデルの新規作成や編集は、本画面で行うことができます。
3	モデル詳細	学習	モデル作成用画像（以降、教師画像）を読み込ませ、機械学習によるモデルを作成するための画面です。
4		検証	モデルを使って判別する検証画像を設定するための画面です。
5		検証結果	判別結果を確認するための画面です。
6	ユーザー一覧		ユーザの一覧を表示します。 ユーザの新規作成や編集は、本画面で行うことができます。

※ 特に記載が無い限り、各画面の内容は画面を表示した時点の物になります。  
 最新情報を確認する場合は、表示中の画面を再表示してください。

## 第3章 ログイン

起動時に使用顧客、使用者の認証のため、[ログイン]画面が表示されます。

### 3. 1 ログイン画面

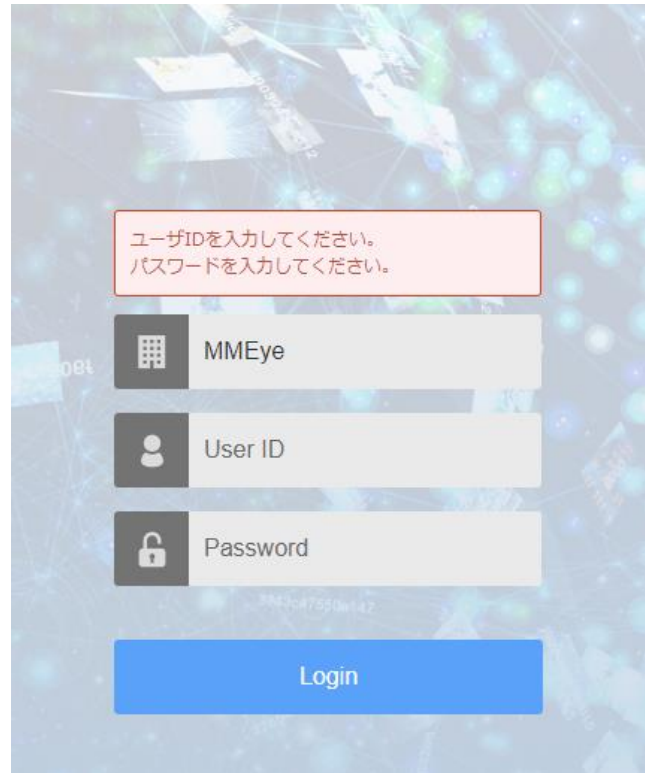
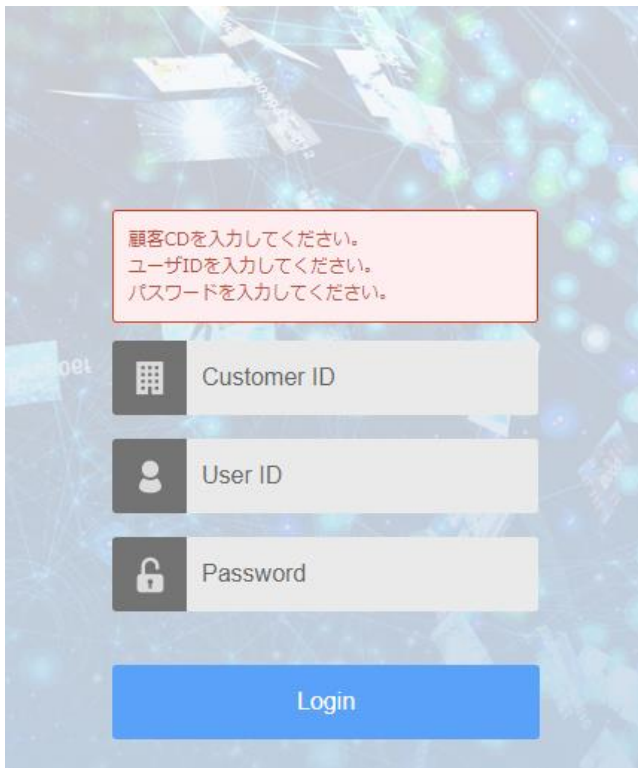


領域	項目名	属性	説明
①	Customer ID	入力	MMEye/Y's-Eye 契約時に弊社から通知した Customer ID を入力します。
②	User ID	入力	システム管理者から付与された User ID を入力します。
③	Password	入力	システム管理者から通知された Password を入力します。
④	Login	操作	①～③を正しく入力後、本ボタンをクリックすることで、[モデル一覧]画面に遷移します。

### 3. 2 ログインの失敗

誤ったログイン情報や入力項目が不足している場合、下図のような警告が表示されます。

ログイン情報がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



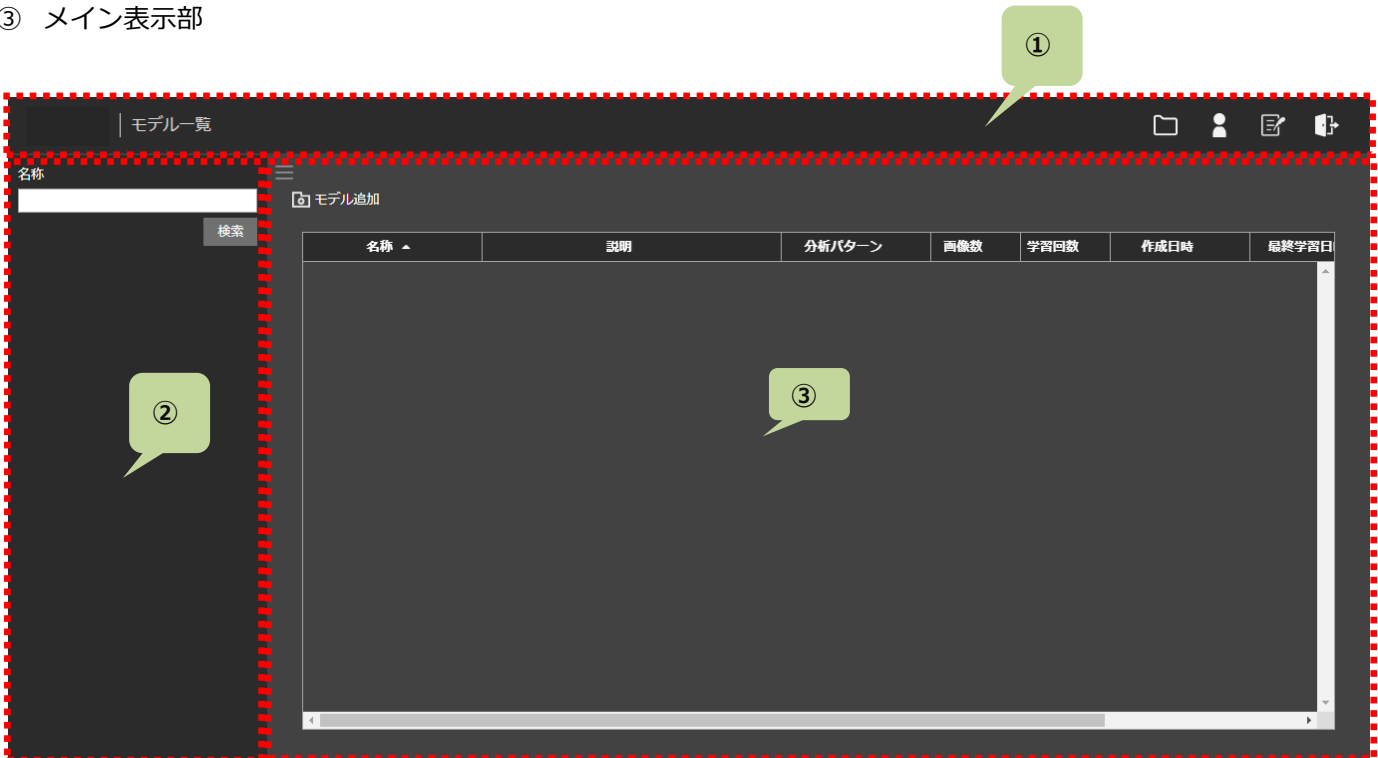







## 第4章 表示画面の構成

### 4.1 画面の全体構成

[ログイン]画面以外の表示画面は以下の3つのエリアで構成されています。

- ① 共通ヘッダー部
- ② サイドメニュー部
- ③ メイン表示部



領域	項目名	属性	説明
①	共通ヘッダー部	表示	左側に画面名、右側にメニューが表示されます。
		操作	 をクリックすると[モデル一覧]画面に、  をクリックすると[ユーザー一覧]画面に、  をクリックすると[ライセンス情報]画面に、  をクリックするとログアウトし、[ログイン]画面に遷移します。
②	サイドメニュー部	表示	表示エリアの情報を抽出するための条件設定を行います。
		入力	 をクリックすることで表示/非表示を切り替えることができます。
		操作	す。
③	メイン表示部	表示	画面毎に表示内容が異なります。詳細は以降の各画面の説明ページをご参照ください。
		操作	す。

## 第5章 モデル一覧画面

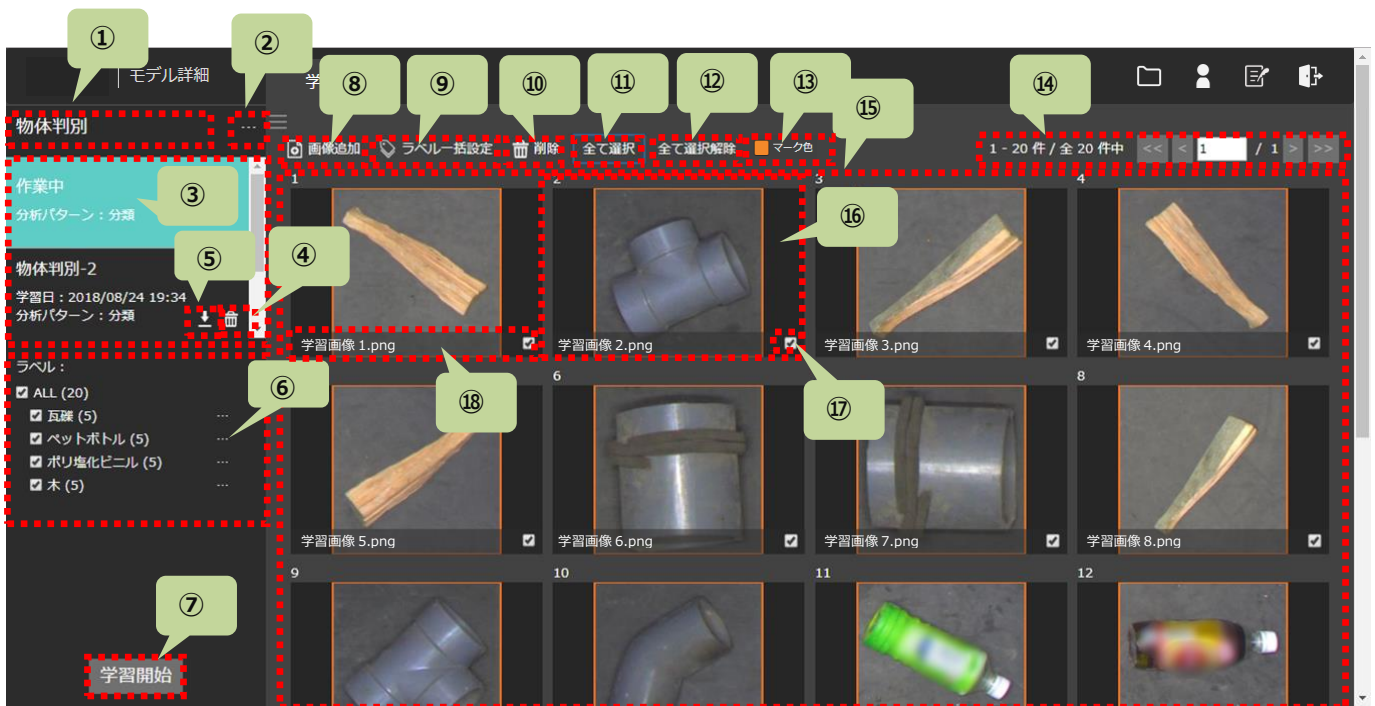


領域	項目名	属性	説明	
①	名称検索	入力	検索したいモデル名をテキストボックスに入力し、<検索>ボタンをクリックすることで、③に一覧表示させるモデルを絞り込むことができます。	
		操作		
②	モデル追加	操作	クリックすると[モデル新規追加]ダイアログが開き、必要項目を入力することでモデルを新規に追加することができます。詳細については「第7章 モデル作成手順」をご参照ください。	
③	モデル一覧表示	表示	作成されたモデルを一覧形式で表示します。タイトル行をクリックすることで昇順/降順で並び替えすることができます。	
			名称	モデル作成時に入力したモデル名を表示します。クリックすることで[モデル詳細]画面に遷移し、モデルの詳細事項を設定・確認することができます。
		操作	説明	モデル作成時に入力した説明文を表示します。
			分析パターン	モデル作成時に選択した分析パターンを表示します。
			画像数	登録されている教師画像の枚数を表示します。
			学習回数	学習を実行し、完了した回数を表示します。
作成日時	モデルを新規追加した日時を表示します。			



			最終学習日時	最後に学習を実行した日時を表示します。
			編集	ボタンをクリックすることで“名称”と“説明”を変更することができます。
			コピー	ボタンをクリックすることで既存モデルをコピーし、新しいモデルを作成することができます。詳細については「第7章 モデル作成手順」をご参照ください。
			削除	ボタンをクリックすることで不要となったモデルを削除することができます。 ※ 削除したモデルは元に戻すことはできません。操作は十分に注意して行ってください。

## 第6章 モデル詳細画面

### 6.1 学習タブ



領域	項目名	属性	説明														
①	モデル名	表示	モデル作成時に設定したモデル名を表示します。														
②	モデル情報	操作	<p>--- をクリックすることで、モデルの情報を表示します。表示内容はモデル一覧で表示している情報と同様です。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">モデル情報</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">名称</td> <td>物体判別</td> </tr> <tr> <td>説明</td> <td>物体を判別し、分類する。</td> </tr> <tr> <td>分析パターン</td> <td>分類</td> </tr> <tr> <td>画像数</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>学習回数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>作成日時</td> <td>2018/08/21 14:47</td> </tr> <tr> <td>最終学習日時</td> <td>2018/08/21 15:48</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">閉じる</p> </div>	名称	物体判別	説明	物体を判別し、分類する。	分析パターン	分類	画像数	20	学習回数	1	作成日時	2018/08/21 14:47	最終学習日時	2018/08/21 15:48
名称	物体判別																
説明	物体を判別し、分類する。																
分析パターン	分類																
画像数	20																
学習回数	1																
作成日時	2018/08/21 14:47																
最終学習日時	2018/08/21 15:48																
③	学習履歴一覧	表示 操作	クリックすることで、現在作業中の表示と、過去の学習実行時の履歴表示とを切り替えることができます。履歴表示は参照のみで、編集することはできません。														

④	学習履歴削除	操作	<p>クリックすることで、過去に作成した学習モデルを削除することができます。</p> <p>※ 削除したモデルは元に戻すことはできません。操作は十分に注意して行ってください。</p>
⑤	モデルファイルダウンロード	操作	<p>クリックすることで、過去に作成した学習モデルの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデルファイル</li> <li>・ 推論結果 NG 定義ファイル</li> </ul> <p>をダウンロードすることができます。</p> <p>※ 本ボタンが表示されるのは、学習に成功したモデルのみとなります。</p> <p>※ 推論結果 NG 定義ファイルの詳細については、「6. 1. 1 推論結果 NG 定義ファイル」をご参照ください。</p>
⑥	ラベル検索	表示	<p>教師画像に設定したラベル一覧を表示します。チェックボックスの ON/OFF でラベルによる画像の絞り込みを行うことができます。</p> <p>分析パターンがセグメンテーションの場合、ラベル名の右隣りにラベル画像表示  / 非表示  ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、対応するレイヤーの表示 / 非表示が切り替わります。</p>
		操作	<p>また、ALL ラベルの右隣りにある表示 / 非表示ボタンをクリックすると、全ラベルの表示 / 非表示が切り替わります。</p>
⑦	学習開始	操作	<p>現在登録されている教師画像を対象に、学習を開始します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ラベル設定要否</li> <li>2. 学習対象となる画像</li> </ol> <p>は分析パターンにより異なります。</p> <p style="margin-left: 40px;">分類</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1つのモデルに対し、2枚以上の画像と2種類以上のラベルの設定が必要です。</li> <li>2. ラベル設定された画像のみを学習対象とします。</li> </ol> <p style="margin-left: 40px;">物体検知</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 画像1枚あたり、1つ以上のラベル設定が必要です。</li> <li>2. 1つのモデルに対し、2枚以上の画像と2種類以上のラベルの設定が必要です。</li> <li>3. 1つのラベルに対し、2枚以上の画像が必要です。</li> <li>4. 登録された全画像を学習対象とします。</li> </ol> <p style="margin-left: 40px;">セグメンテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ラベル未設定の画像を使用可能です。</li> <li>2. 登録された全画像を学習対象とします。</li> <li>3. その他要件については、「付録1 セグメンテーション学習画像作成手順」を参照ください。</li> </ol>

			学習開始ボタンをクリックすると、学習履歴一覧に表示するメモの入力欄が表示されます。必要に応じて学習時のメモを入力後（空欄可）に“OK”ボタンをクリックすると、学習を開始します。
⑧	画像追加	操作	クリックで[教師画像追加]ダイアログが表示され、教師画像を追加することができます。詳細については「第7章 モデル作成手順」をご参照ください。
⑨	ラベル一括設定	操作	クリックで[ラベル一括設定]ダイアログが表示され、チェックボックス(⑯)にチェックの入った教師画像全てに対し、一括でラベル設定することができます。 詳細については「7. 4 モデル作成手順」をご参照ください。 ※ 本ボタンが表示されるのは、分析パターン：分類のモデルのみとなります。
⑩	削除	操作	クリックでチェックボックス(⑰)にチェックの入った教師画像全てを一括削除することができます。 ※ 削除した画像は元に戻すことはできません。操作は十分に注意して行ってください。
⑪	全て選択	操作	クリックで現在表示されている全ての教師画像のチェックボックス(⑰)にチェックを入れることができます。
⑫	全て選択解除	操作	クリックで現在表示されている全ての教師画像のチェックボックス(⑰)のチェックを外すことができます。
⑬	マーク色	表示	矩形の描画色を表示／選択します。選択した色はダイアログおよび [検証結果] 画面の描画色にも適用されます。
		操作	※ 分析パターンが分類の場合、この項目は表示されません。
⑭	表示件数	表示	検索結果の現在表示件数、総件数、現在表示ページを表示します。 一覧の1 ページ分の画像表示件数は100件となります。
		入力	また、<<<先頭ページ>> / <<1 つ前のページ>> / >>>1 つ先のページ>> / >>><最終ページ>>を押下するか、またはページ番号指定テキストボックスを入力することにより、表示するページを指定できます。
		操作	
⑮	教師画像一覧	表示	画像追加(⑧)で追加した教師画像を一覧表示します。
		操作	
⑯	教師画像	表示	画像追加(⑧)で追加した教師画像です。クリックすることで[ラベル編集]ダイアログが表示され、ラベルを設定することができます。詳細については「第7章 モデル作成手順」をご参照ください。
		操作	
⑰	選択対象	操作	<ラベル一括設定> (⑨)、または<削除> (⑩) ボタンがクリックされた際にチェックされている画像を操作対象とします。
⑱	ファイル名	表示	画像追加(⑧)で追加した教師画像のファイル名を表示します。

### 6. 1. 1 推論結果 NG 定義ファイル

<モデルダウンロード> ボタンをクリックすると、モデルファイルと同時に”推論結果 NG 定義ファイル”のテンプレートをダウンロードします。

推論結果 NG 定義ファイルとは、エッジ PC が実施する画像判別処理（推論処理）の結果、「NG（不良品等）と判定すべき条件」を定義したファイルです。

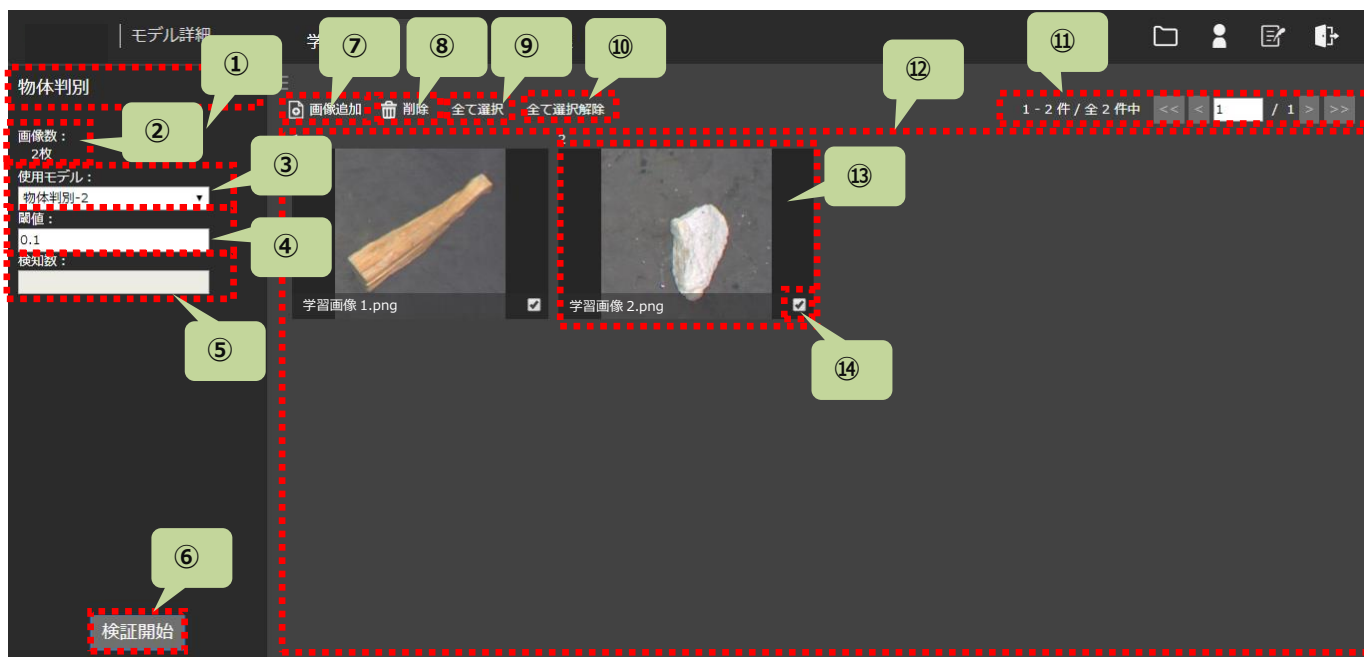
エッジ PC へ推論結果 NG 定義ファイルを配置済みの状態で推論処理を行うと、推論結果と NG 判定条件とのマッチングを行い、マッチする場合は「NG」と判定されます。

詳細については、別紙「ME-EDG-PP-0010 (エッジ端末ユーザズマニュアル)」をご参照ください。

ファイル名	[詳細モデル名]_NgCondition.json
ファイル形式	JSON ファイル
文字コード	UTF-8

- ・ **[詳細モデル名]**は、**[モデル名]**の末尾に学習回数の連番を付与した物です。  
例として、**[モデル名]**が「サンプルモデル」の場合、  
**[詳細モデル名]**は「サンプルモデル-1」、「サンプルモデル-2」、「サンプルモデル-3」、…と続きます。
- ・ エッジ PC へ推論結果 NG 定義ファイルを未配置の状態で推論を行うと、全結果を「OK」と判定します。
- ・ ダウンロード直後の推論結果 NG 定義ファイルには、全結果を「OK」と判定する条件が記載されています。  
利用目的に応じ、NG 定義ファイルの内容を適宜ご変更ください。

6. 2 検証タブ

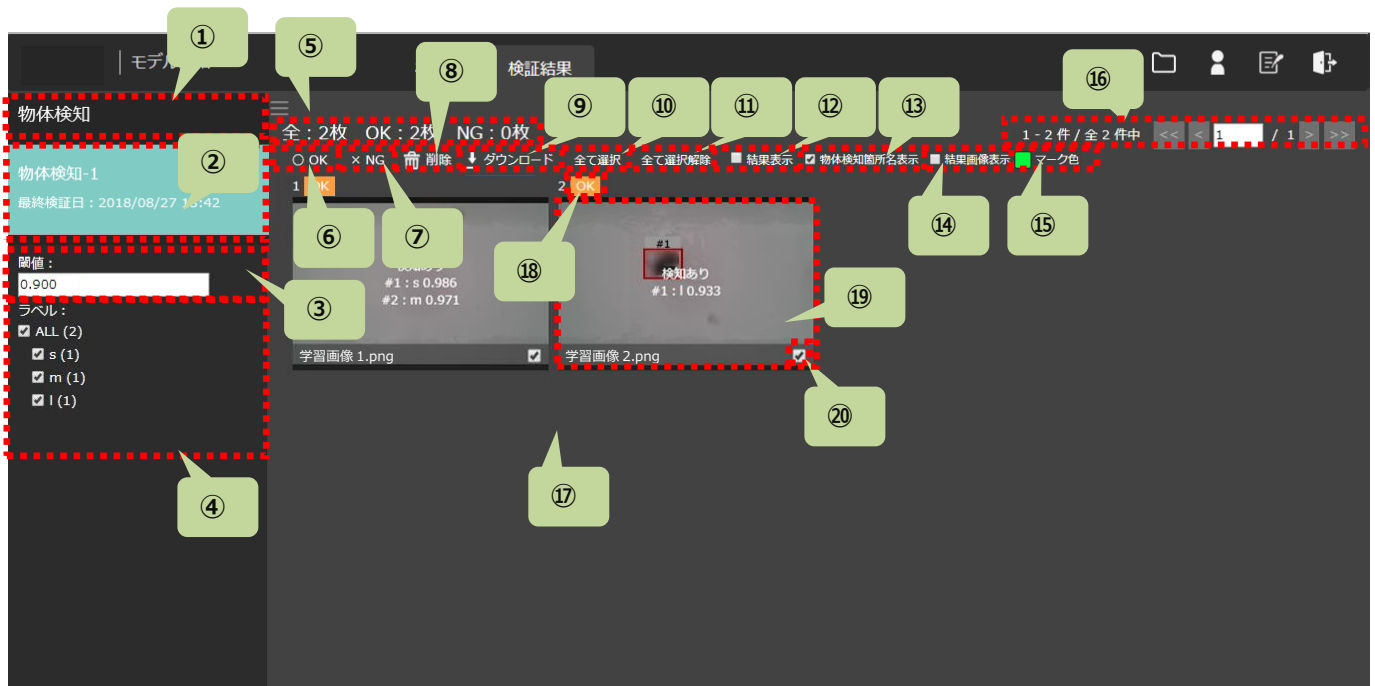


領域	項目名	属性	説明
①	モデル名	表示	モデル作成時に設定したモデル名を表示します。
②	検証画像数	表示	検証画像数を表示します。
③	使用モデル	操作	検証で使用するモデルをプルダウンから選択します。
		入力	
④	閾値	入力	<p>閾値を 0～1 の小数点以下桁数 3 桁以内で入力します。入力するパラメーターは分析パターンによって異なります。</p> <p>分類： 結果で得られたスコアが入力した閾値以上となるラベルを[モデル詳細] “検証結果” タブの結果表示の表示対象とします。</p> <p>物体検知、セグメンテーション： 結果で得られたスコアが入力した閾値以上となる箇所を物体と判断します。</p>
⑤	検知数	入力	<p>検知数を 1～1000 の範囲で入力します。入力するパラメーターは分析パターンによって異なります。</p> <p>分類： 入力する必要はありません。</p> <p>物体検知、セグメンテーション： 画像 1 枚当たりに検知する物体の最大数を入力します。</p>



⑥	検証開始	操作	クリックで現在登録されている検証画像の全てを対象に、検証を開始します。
⑦	画像追加	操作	クリックで[検証画像追加]ダイアログが表示され、検証画像を追加することができます。詳細については「第8章 モデル検証手順」をご参照ください。
⑧	削除	操作	クリックでチェックボックス(⑭)にチェックの入った検証画像全てを一括削除する事ができます。 ※ 削除した画像は元に戻すことはできません。操作は十分に注意して行ってください。
⑨	全て選択	操作	クリックで現在表示されている全ての検証画像のチェックボックス(⑭)にチェックを入れることができます。
⑩	全て選択解除	操作	クリックで現在表示されている全ての検証画像のチェックボックス(⑭)のチェックを外すことができます。
⑪	表示件数	表示	検索結果の現在表示件数、総件数、現在表示ページを表示します。一覧の1 ページ分の画像表示件数は100件となります。
		入力	また、<<<先頭ページ>> / <<1 つ前のページ>> / >>>1 つ先のページ>> / >>>>最終ページ>>>を押下するか、またはページ番号
		操作	指定テキストボックスを入力することにより、表示するページを指定できます。
⑫	検証画像一覧	表示	画像追加(⑦)で追加した検証画像を一覧表示します。
⑬	検証画像	表示	画像追加(⑦)で追加した検証画像です。
⑭	選択対象	操作	<削除> ボタンがクリックされた際にチェックされている画像を削除対象とします。

### 6. 3 検証結果タブ



領域	項目名	属性	説明
①	モデル名	表示	モデル作成時に設定したモデル名を表示します。
②	検証結果一覧	表示	学習モデルの一覧が表示されます。クリックすることで、そのモデルを使用した検証結果を確認することができます。
		操作	
③	閾値	入力	<p>閾値を 0~1 の小数点以下桁数 3 桁以内で入力します。入力するパラメータは分析パターンによって異なります。</p> <p>分類： 入力する必要はありません。</p> <p>物体検知、結果で得られたスコアが入力した閾値以上となるセグメンテーション箇所をマークします。</p> <p>アクション：</p>
④	ラベル検索	表示	検証結果で得られたラベルを一覧表示します。チェックボックスの ON/OFF でラベルによる画像の絞り込みを行うことができます。
		操作	
⑤	OK/NG サマリ情報	表示	検証結果に対して行った OK/NG 判断情報をサマリ表示します。
⑥	○ OK	操作	チェックボックス(⑳)にチェックが入っている結果について、一括して"OK"を設定します。
⑦	× NG	操作	チェックボックス(⑳)にチェックが入っている結果について、一括して"NG"を設定します。

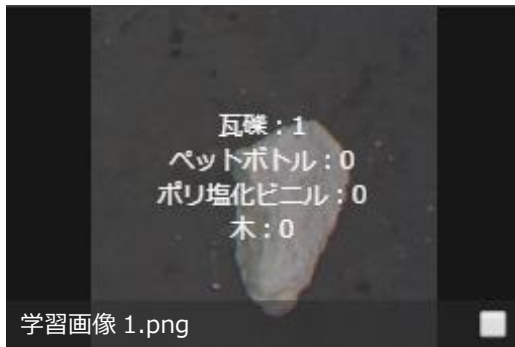
⑧	削除	操作	<p>クリックでチェックボックス(☑)にチェックの入った検証画像全てを一括削除する事ができます。</p> <p>※ 削除した画像は元に戻すことはできません。操作は十分に注意して行ってください。</p>
⑨	ダウンロード	操作	<p>クリックで現在選択されている全ての検証画像に対し、検証結果をダウンロードします。詳細は「6. 3. 2 検証結果フォーマット」をご参照ください。</p>
⑩	全て選択	操作	<p>クリックで現在表示されている全てのチェックボックス(☑)にチェックを入れることができます。</p>
⑪	全て選択解除	操作	<p>クリックで現在表示されている全てのチェックボックス(☑)のチェックを外すことができます。</p>
⑫	結果表示	操作	<p>チェックボックスにチェックを入れることで、検証結果を常時表示させることができます。</p>
⑬	物体検知箇所名表示	操作	<p>分析パターン: 物体検知時のみ表示されます。チェックボックスのチェックを外すことで、物体検知箇所のラベル表示を非表示にすることができます。</p>
⑭	結果画像表示	操作	<p>検証結果画像の表示/非表示を選択します。チェックボックスにチェックを入れることで、表示状態に切り替えます。</p> <p>※ 分析パターンがセグメンテーションでない場合、この項目は表示されません。</p>
⑮	マーク色	表示	<p>矩形および重心座標の描画色を表示/選択します。選択した色はダイアログおよび [検証結果] 画面の描画色にも適用されます。</p> <p>※ 分析パターンが分類の場合、この項目は表示されません。</p>
		操作	
⑯	表示件数	表示	<p>検索結果の現在表示件数、総件数、現在表示ページを表示します。一覧の1 ページ分の画像表示件数は100件となります。</p> <p>また、&lt;&lt;&lt;先頭ページ&gt;&gt; / &lt;&lt;1 つ前のページ&gt;&gt; / &lt;&gt;1 つ先のページ&gt;&gt; / &gt;&gt;&gt;最終ページ&gt;&gt; を押下するか、またはページ番号指定テキストボックスを入力することにより、表示するページを指定できます。</p>
		入力	
		操作	
⑰	検証画像一覧	表示	<p>検証画像を一覧表示します。</p>
⑱	OK/NG	表示	<p>クリックで"OK"と"NG"を切り替えることができます。検証結果に対する評価を記録したい場合にご利用ください。</p>
		操作	
⑲	検証結果	表示	<p>検証画像とその検証結果を表示します。&lt;結果表示&gt;(⑩)のチェックボックスにチェックが入っていない場合、画像をマウスオーバーすると検証結果が表示されます。</p> <p>クリックで拡大表示ダイアログが表示されます。</p>

⑳	選択対象	操作	<p>&lt;○ OK&gt; &lt;× NG&gt; ボタン(⑥⑦)、&lt;削除&gt; (⑧) ボタン、または&lt;ダウンロード&gt; (⑨) ボタンがクリックされた際にチェック済みの画像を操作対象とします。</p> <p>チェックボックスにチェックが入っている状態で&lt;○ OK&gt; &lt;× NG&gt; ボタンをクリックすると、検証結果に対する"OK"、"NG"を一括して設定することができます。</p> <p>チェックボックスにチェックが入っている状態で&lt;削除&gt; (⑧) ボタンをクリックすると、対象画像が一括削除されます。</p> <p>チェックボックスにチェックが入っている状態で&lt;ダウンロード&gt; (⑨) ボタンをクリックすると、対象画像と検証結果が一括ダウンロードされます。</p>
---	------	----	---

### 6. 3. 1 結果表示

結果表示の内容は、分析パターンによって異なります。

#### 【分類】



“ラベル名：スコア”

を表示します。

スコアは0～1の範囲で、小数点以下桁数3桁以内で表示され、数値が大きいほど、そのラベルに酷似しているという意味合いとなります。

スコアが設定した閾値以上のラベルのみが表示されます。

#### 【物体検知】



“検知なし” or “検知あり”

物体検知箇所番号：最類似ラベル名 スコア（検知あり時のみ）

を表示し、物体検知箇所を□マークで表示します。

スコアは0～1の範囲で、小数点以下桁数3桁以内で表示され、数値が大きいほど、そのラベルに酷似しているという意味合いとなります。

スコアが設定した閾値以上の場合は検知あり、閾値未満の場合は検知なしと判断します。

#### 【セグメンテーション】



“検知なし” or “検知あり”

検知箇所番号：最類似ラベル名 スコア（検知あり時のみ）

を表示し、検知した領域の重心座標を×マークで表示します。

スコアは0～1の範囲で、小数点以下桁数3桁以内で表示され、数値が大きいほど、そのラベルに酷似しているという意味合いとなります。

スコアが設定した閾値以上の場合は検知あり、閾値未満の場合は検知なしと判断します。

### 6. 3. 2 検証結果フォーマット

検証画像を選択後にダウンロードボタンをクリックすると、選択中の検証画像ごとにそれぞれ以下のファイルをダウンロードします。

- ・ **[検証画像ファイル名]**は、検証画像ファイル名において拡張子より前の部分です。  
例：「検証画像.jpeg」 → 「検証画像」
- ・ **[検証画像ファイル名]**が重複した場合、ファイル名の末尾に連番を付与します。

<b>ファイル名</b>	<b>[検証画像ファイル名].[検証画像拡張子]</b>
<b>ファイル形式</b>	画像ファイル（フォーマットはアップロード時と同一）
<b>説明</b>	「6. 2 検証タブ」で登録した検証画像と同一のファイルです。

<b>ファイル名</b>	<b>[検証画像ファイル名]_result.[検証画像拡張子]</b>
<b>ファイル形式</b>	画像ファイル（フォーマットはアップロード時と同一）
<b>説明</b>	<p>「6. 2 検証タブ」で登録した検証画像に対し、検出された物体の位置を赤枠で書き加えた画像です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分析パターンがセグメンテーションの場合であっても、本ファイルに検証結果画像は描画されません。</li> </ul>

<b>ファイル名</b>	[検証画像ファイル名]_result.csv
<b>ファイル形式</b>	CSV ファイル
<b>文字コード</b>	UTF-8
<b>説明</b>	<p>検証結果を CSV 形式で出力したファイルです。</p> <p>出力内容は、表示しているモデルの分析パターンにより異なります。</p> <p><b>分析パターンが分類の場合：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Label Name (ラベルの名称)</li> <li>・ Score (ラベルのスコア)</li> </ul> <p><b>分析パターンが物体検知の場合：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Data No. (検出された物体に割り振られた連番)</li> <li>・ X (検出された物体の X 座標)</li> <li>・ Y (検出された物体の Y 座標)</li> <li>・ W (検出された物体の横幅)</li> <li>・ H (検出された物体の縦幅)</li> <li>・ Label Name (検出された物体のラベル名)</li> <li>・ Score (検出された物体のスコア)</li> </ul> <p><b>分析パターンがセグメンテーションの場合：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Data No. (検出された物体に割り振られた連番)</li> <li>・ PositionX (検出された物体の重心座標の X 座標)</li> <li>・ PositionY (検出された物体の重心座標の Y 座標)</li> <li>・ Pixel (検出された物体が画像上に占めるピクセル数)</li> <li>・ X (検出された物体の X 座標)</li> <li>・ Y (検出された物体の Y 座標)</li> <li>・ W (検出された物体の横幅)</li> <li>・ H (検出された物体の縦幅)</li> <li>・ Label Name (検出された物体のラベル名)</li> <li>・ Score (検出された物体のスコア)</li> </ul>

## 第7章 モデル作成手順

### 7.1 モデルを新規に作成するには

ここでは新規にモデルを作成する手順について説明します。

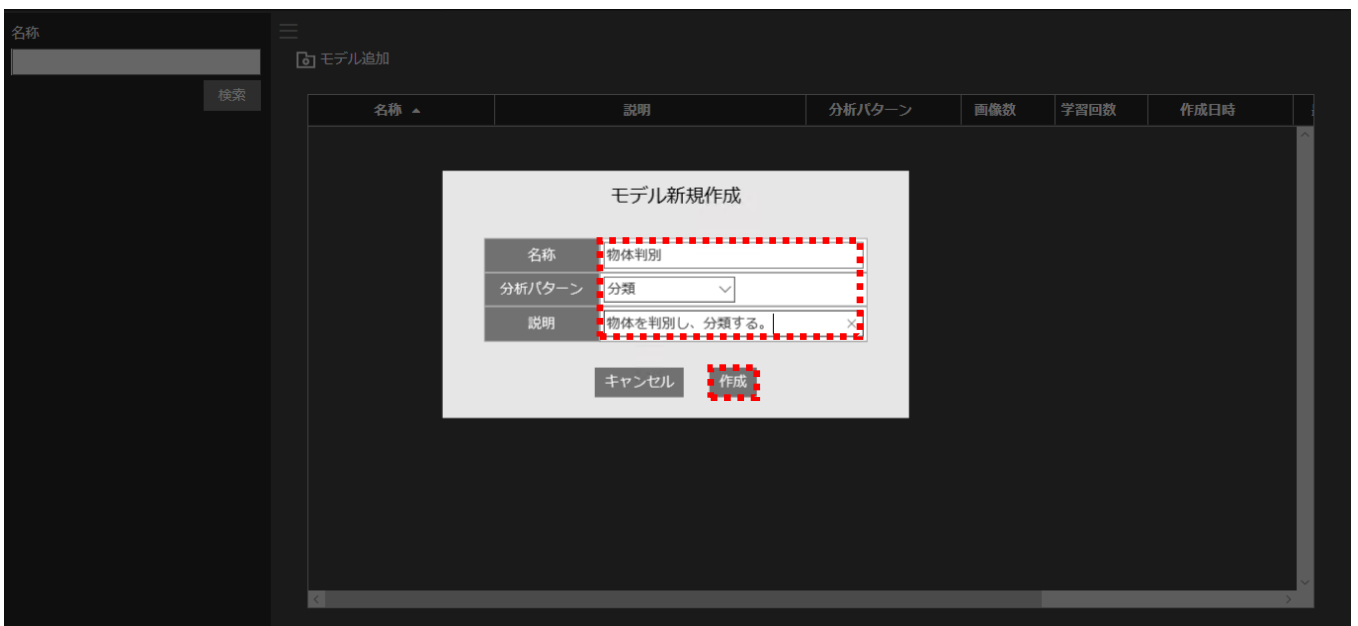
- ① [モデル一覧]画面にて、<モデル追加> ボタンをクリックします。



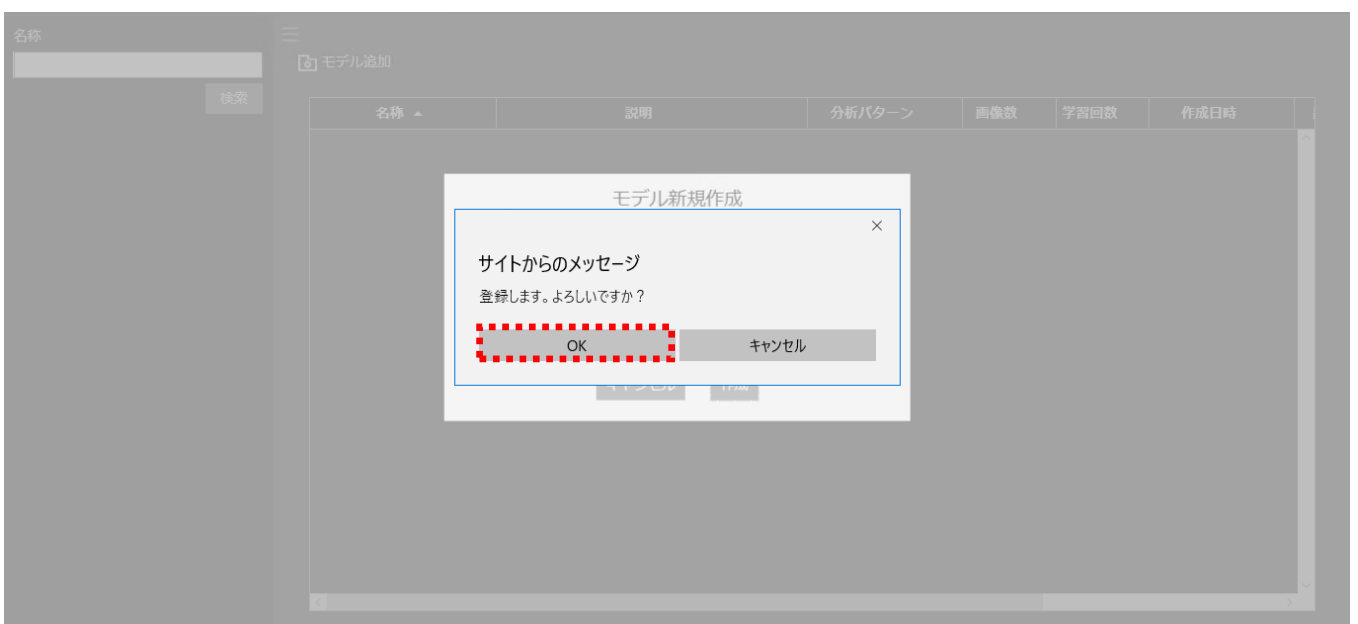


- ② 表示された[モデル新規作成]ダイアログの各項目に必要事項を入力し、<作成> ボタンをクリックします。  
 分析パターンは“分類”、“物体検知”、“セグメンテーション”から選択することができます。用途に応じて適切なものをご選択ください。

分類 : 画像を予め設定したラベルに分類したい場合に使用します。  
 物体検知 : 画像中の物体を検知したい場合に使用します。  
 セグメンテーション : 画像中に物体が存在する領域を検知したい場合に使用します。



- ③ <OK> をクリックするとモデルが作成され、[モデル詳細]画面の“学習”タブに遷移します。



④ [モデル詳細]画面の“学習”タブにて、<画像追加> ボタンをクリックし、教師画像を追加します。



教師画像は分析パターンに応じて、次のものを設定してください。

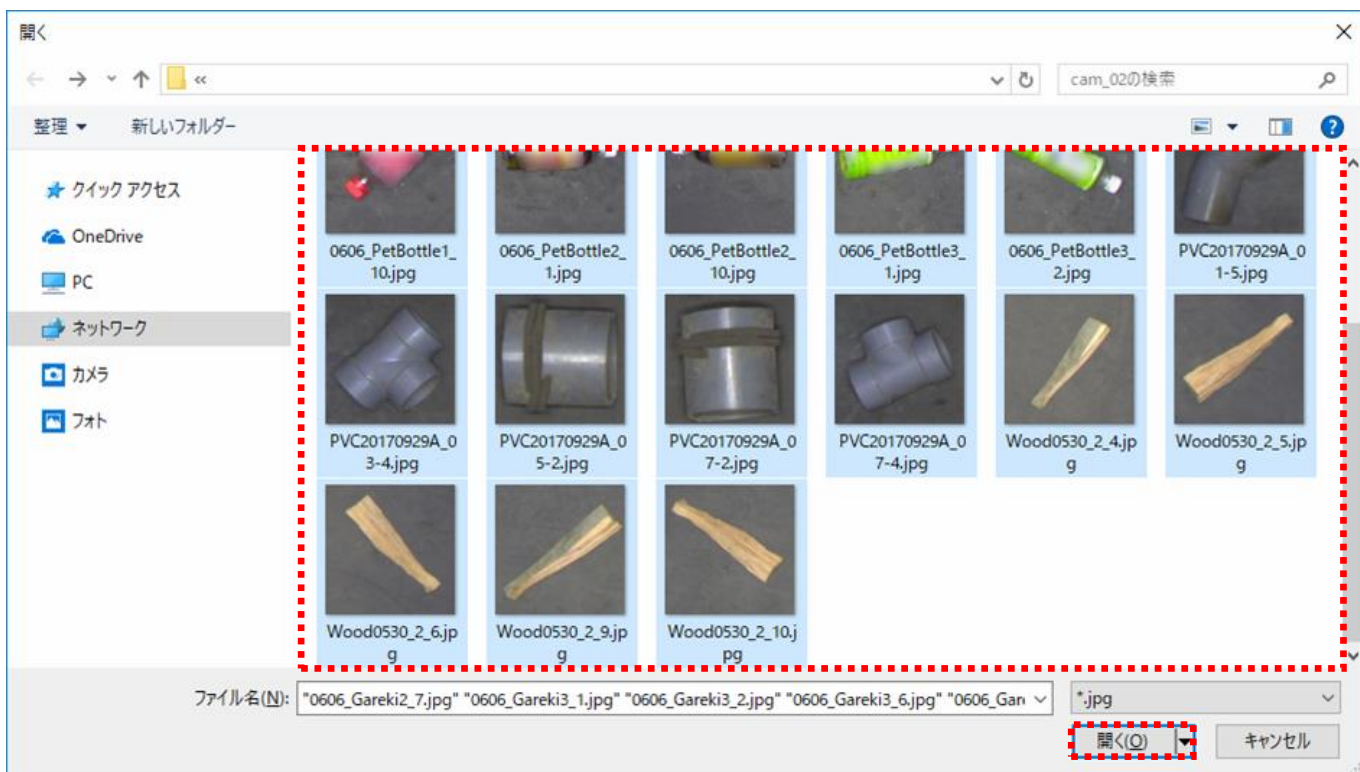
分析パターン	教師画像
分類	分類対象が写っている画像を設定します。予め対象のみが写っている状態にトリミングしてから設定してください。
物体検知	検知対象の物体が写っている画像を設定します。物体の表示位置は別途ラベル設定で指定するため、トリミングせずに設定してください。
セグメンテーション	検知対象を表すレイヤー情報をラベル毎に付与した学習画像を設定します。学習画像の詳細および作成手順は、「付録 1 セグメンテーション学習画像作成手順」をご参照ください。

※ 教師画像と検証画像の撮影条件が異なる場合、認識精度に影響を与える可能性があります。検証に使用する画像と同様の条件で撮影した教師画像を使用してください。

- ⑤ [教師画像追加]ダイアログが表示されるので、ローカルファイルを教師画像として登録したい場合は<フォルダ参照>ボタンを、既に作成済みモデルの画像を流用したい場合は”既存モデルを開く”のプルダウンから流用元モデルを選択し、<画像表示>ボタンをクリックします。<フォルダ参照>ボタンをクリックした場合はファイル選択ダイアログが表示されるので、登録したい画像を選択し、<開く> (※)をクリックします。



※ ご使用の OS によって文言が異なります。Windows 10 の場合は以下の画面となります。

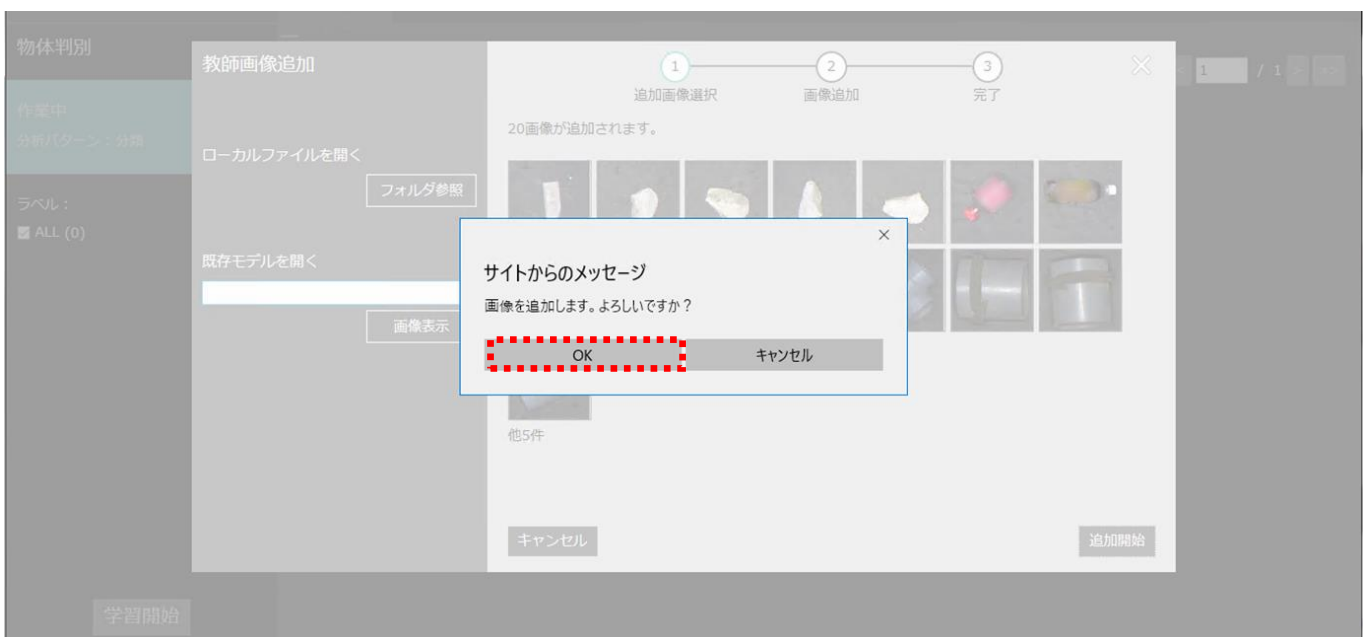


⑥ 追加対象の画像が先頭から 15 件まで画面表示されます。〈追加開始〉ボタンをクリックすることで、教師画像追加が開始されます。

※ ブラウザの制限により、ファイル数が多い場合やファイルサイズが大きい場合は、正常に追加されないことがあります。正常に追加されない場合は、ファイル数を減らしてお試しください。



⑦ 確認メッセージが表示されるので、〈OK〉ボタンをクリックします。

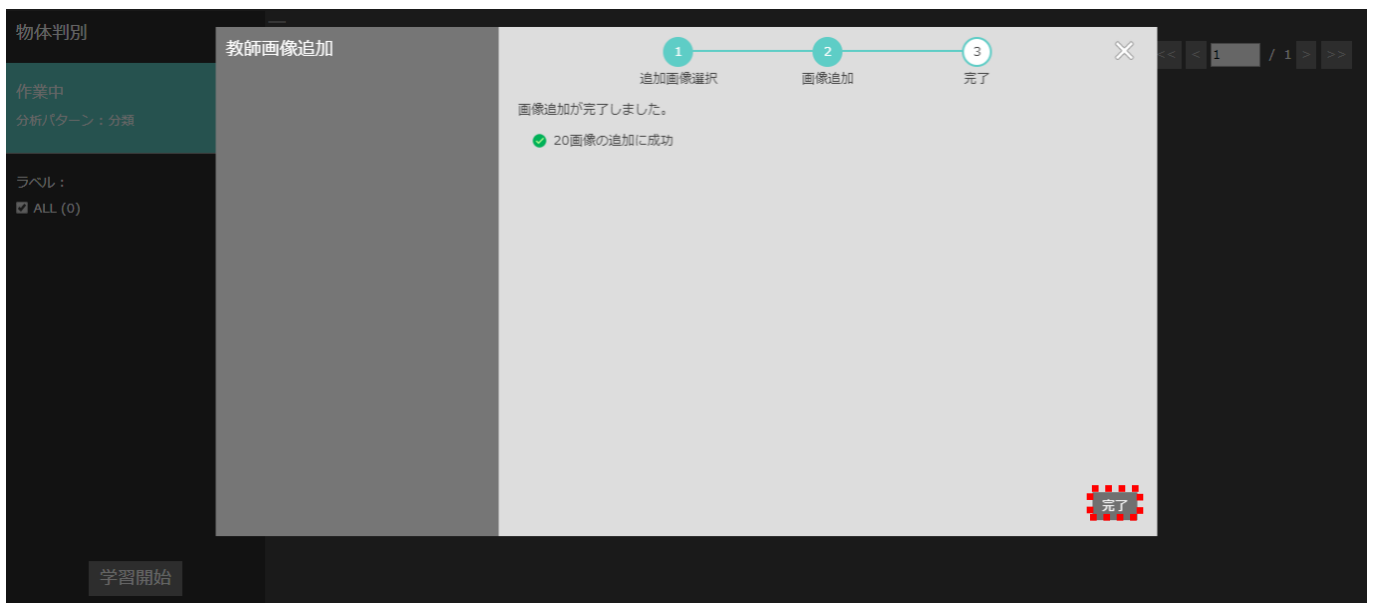


⑧ 画像の追加が完了されるまで、しばらくお待ちください。

以下のメッセージが表示されたら、<完了> ボタンをクリックしてください。

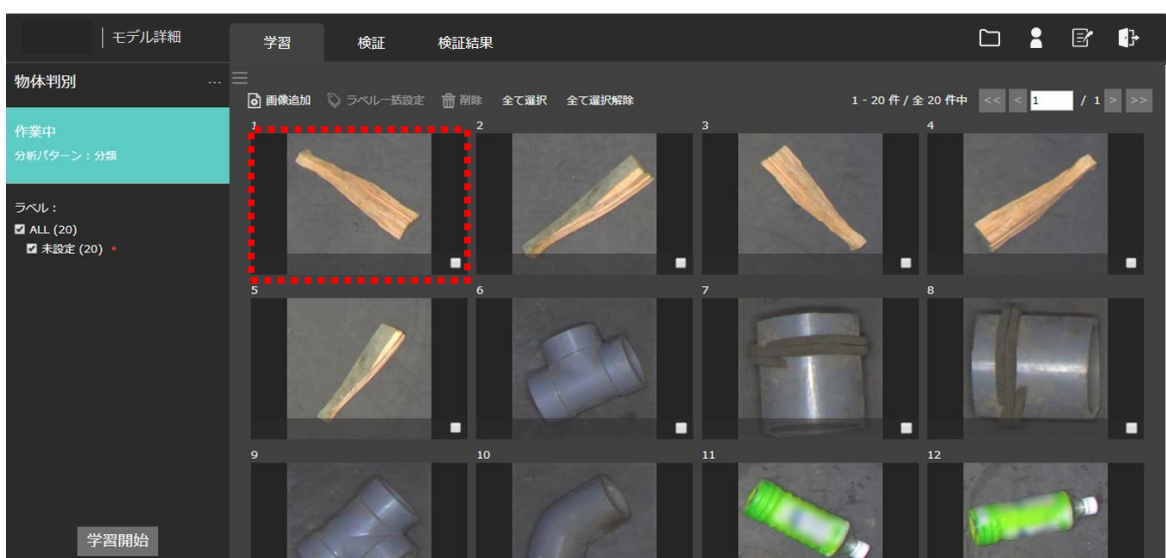
追加した画像は、[モデル詳細]画面の“学習”タブにて、対象の画像チェックボックスを ON にした上で、<削除> ボタンをクリックし、削除することができます。

※ 追加するファイルサイズが大きい場合、全ファイルの追加が完了するまでに時間が掛かることがあります。

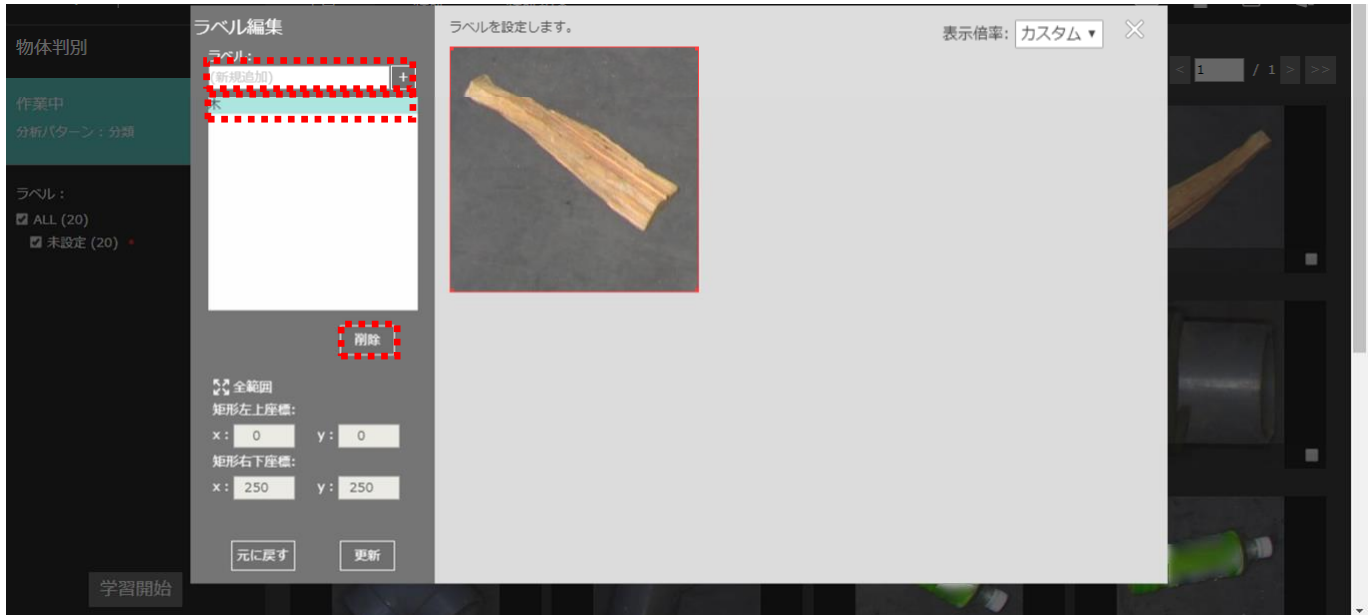


⑨ 続いて、ラベルの設定を行います。画面中の画像をクリックし、[ラベル編集]ダイアログを開きます。

※ 分析パターン：セグメンテーションの場合、ラベル設定はレイヤー情報付き学習画像から自動生成するため、画面操作は不要です。ラベルの設定手順をスキップし、⑬へお進みください。



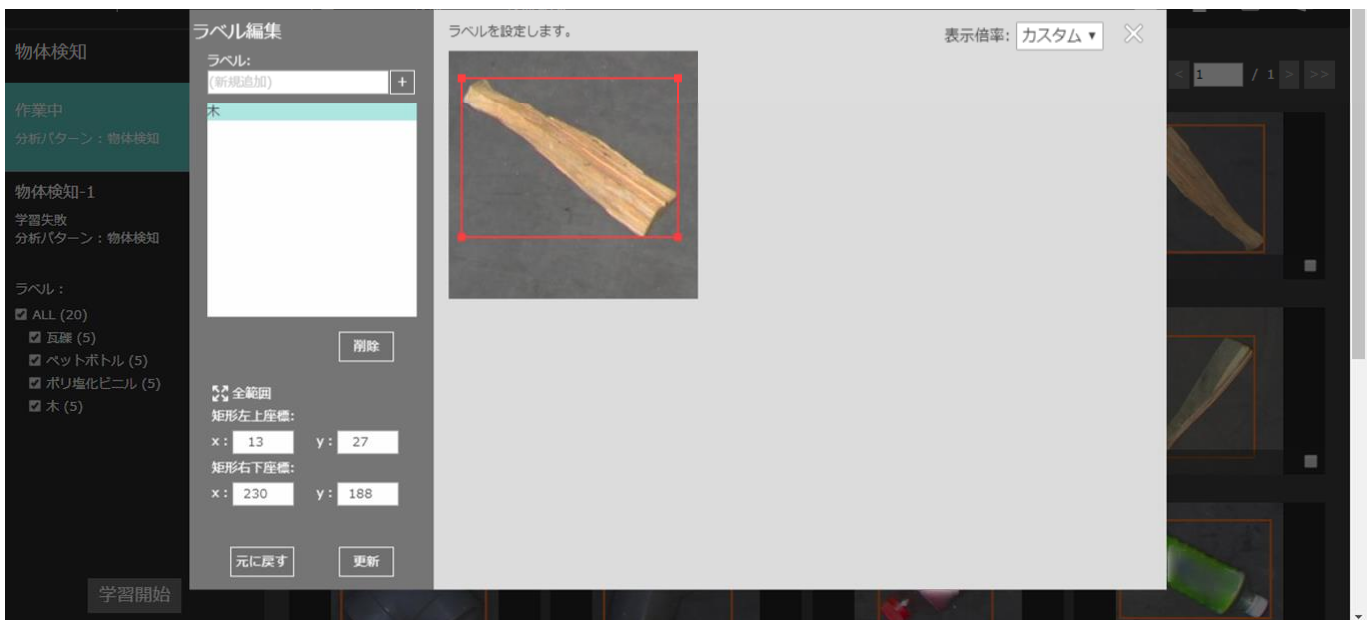
- ⑩ ラベル名を入力し、<+> ボタンをクリックすることでラベルを追加することができます。  
追加したラベルはリスト内のラベル名をダブルクリックすることで、名称を変更することができます。  
また、<削除> ボタンをクリックすることで、削除することができます。



⑪ 分析パターンが物体検知である場合、物体の表示位置をラベルの範囲を変更することで指定します。

ラベル範囲の初期値は全範囲であり、以下の操作で変更することができます。

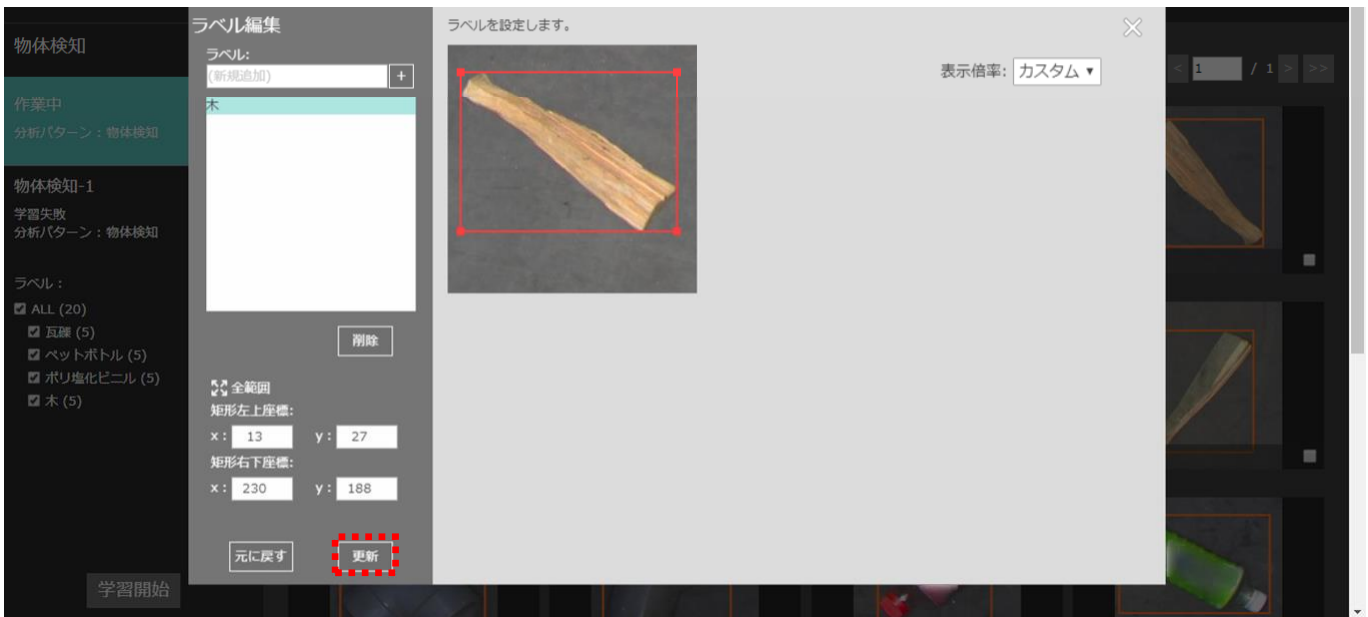
- ・ “矩形左上座標”、“矩形右下座標”に数字を入力すると、ラベルの範囲を直接指定することができます。
- ・ 画像上をマウスの左ボタンでドラッグすると、ドラッグした範囲をラベルに設定します。
- ・ ■ マークをマウスの左ボタンでドラッグすると、ドラッグした端点をドロップした位置に移動します。
- ・ 画像上をマウスの右ボタンでドラッグすると、ドラッグした方向に描画位置を移動します。
- ・ 画像上でマウスホイールを操作すると、画像の表示倍率を変更します。
- ・ <表示倍率> プルダウンを操作すると、画像の表示倍率を指定値に変更します。
- ・ <全範囲> ボタンをクリックすると、ラベルの範囲を画像全体に変更します。



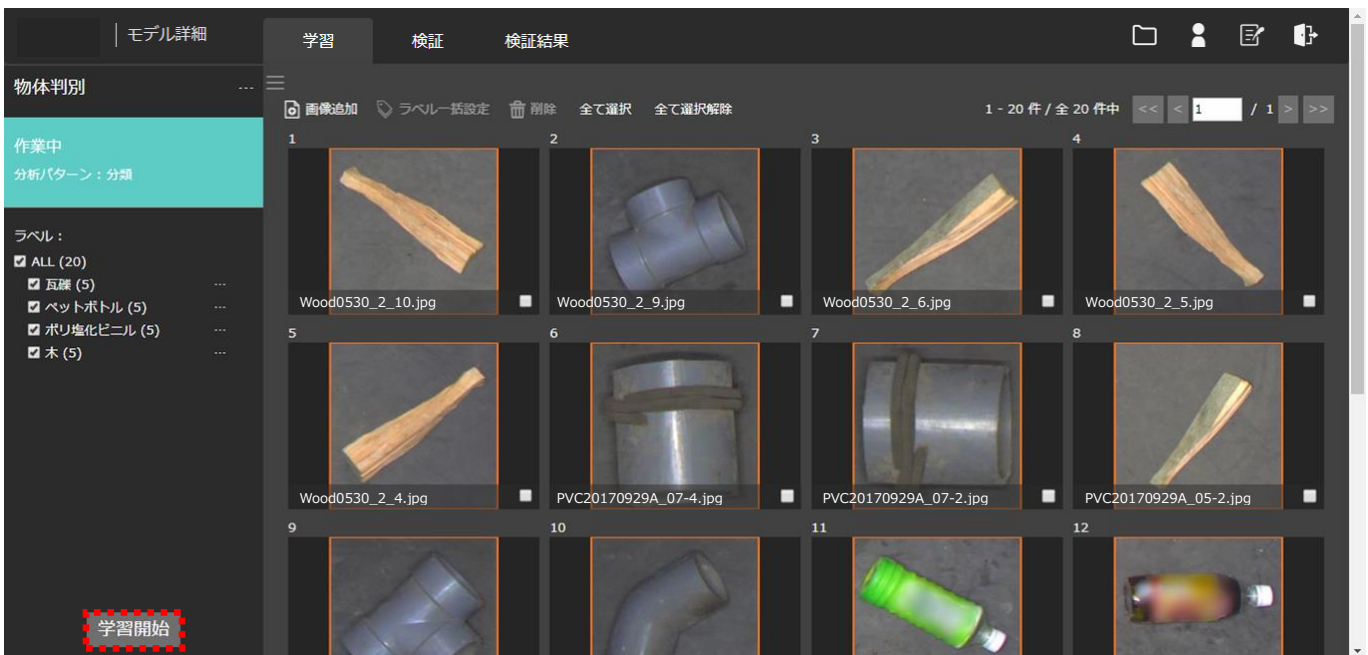
⑫ <更新> ボタンをクリックし、設定を確定させます。

※ <更新> ボタンをクリックせずに[ラベル編集]ダイアログを閉じた場合、変更した設定は反映されません。

※ <元に戻す> ボタンをクリックすると、更新前の状態に戻ります。



⑬ ラベル設定が完了したら、<学習開始> ボタンをクリックします。



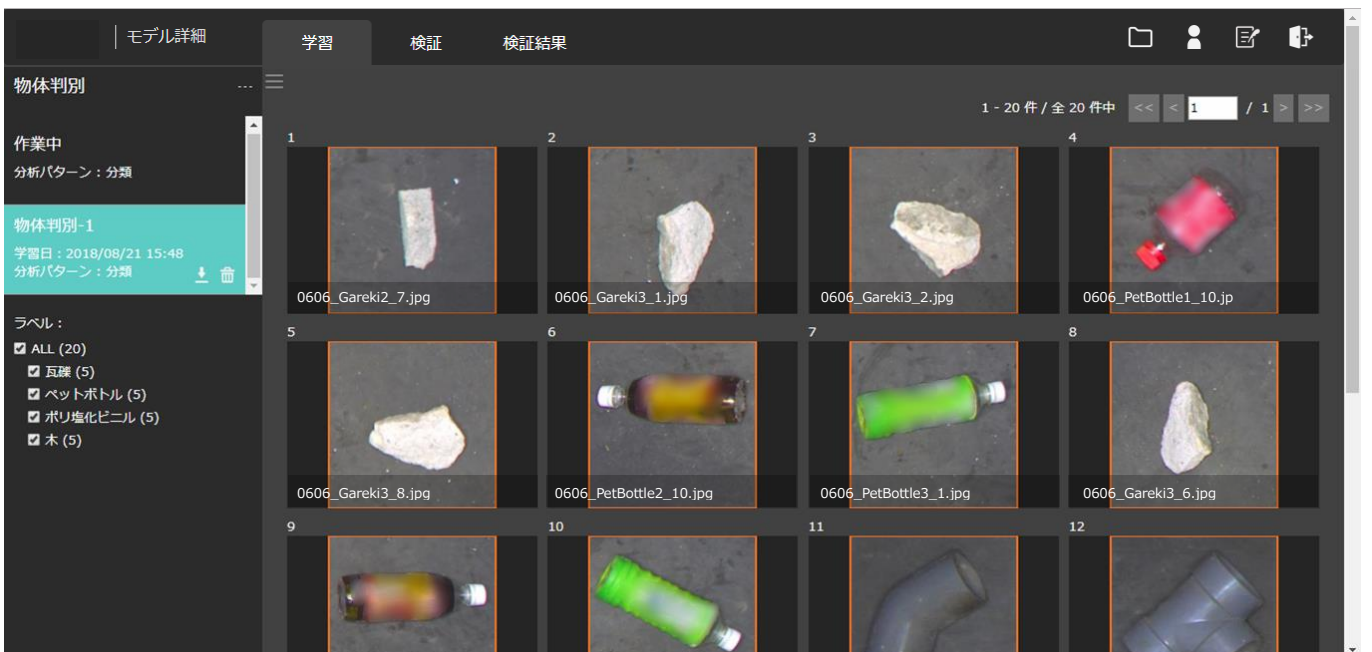


⑭ 学習終了までしばらくお待ちください。




⑮ 以下の画面が表示されると、学習は完了です。

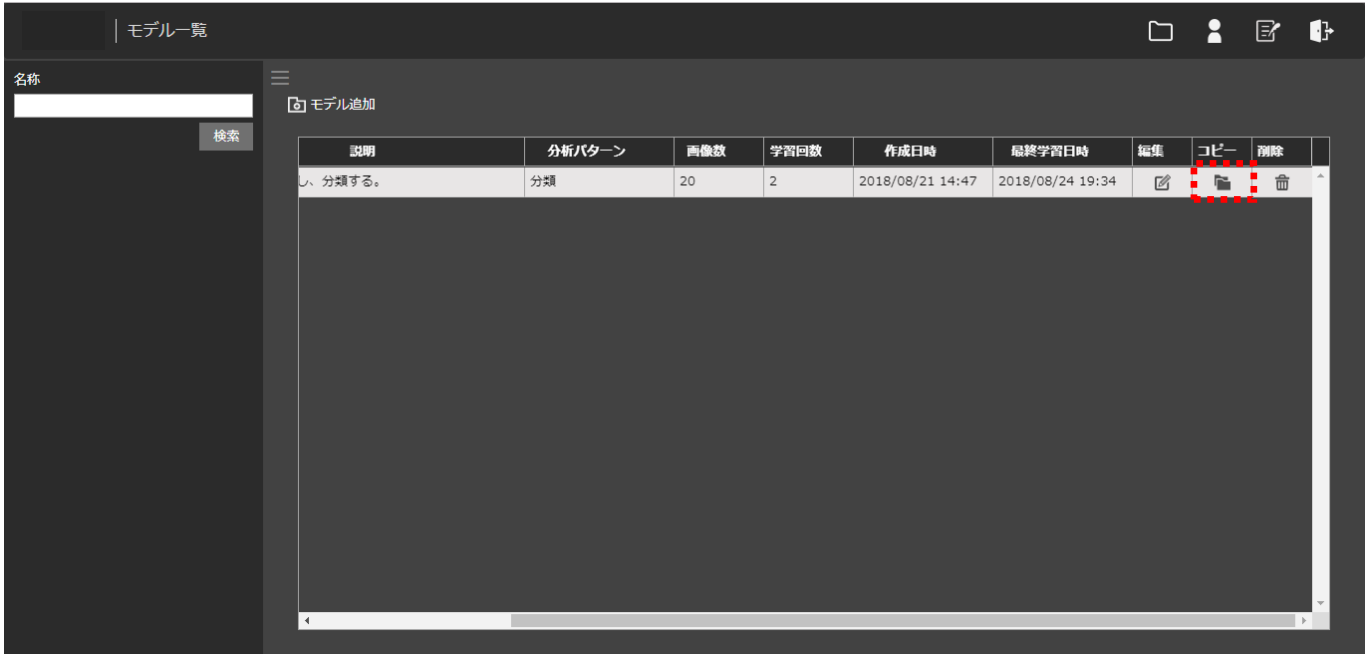
※画面の自動更新は行いません。手動で画面を更新し、完了を確認してください。



## 7. 2 既存モデルをコピーして新しいモデルを作成するには

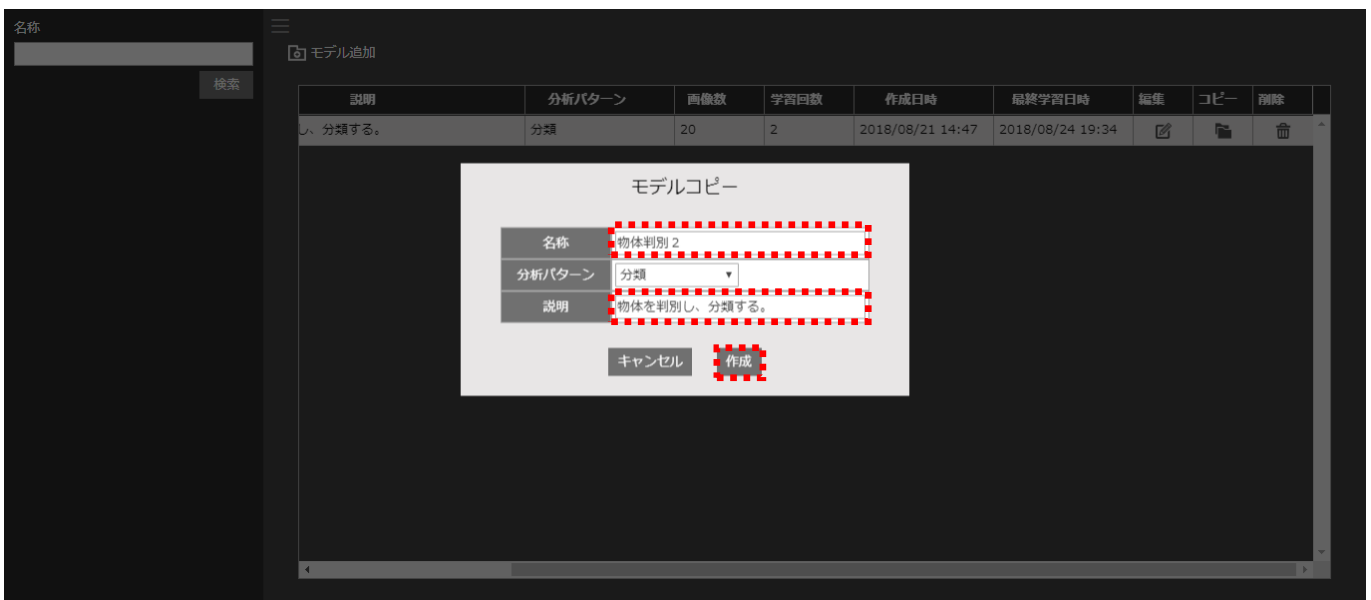
ここでは既存モデルをコピーして新しいモデルを作成する手順について説明します。

- ① [モデル一覧]画面にて、コピーしたいモデルの  ボタンをクリックします。

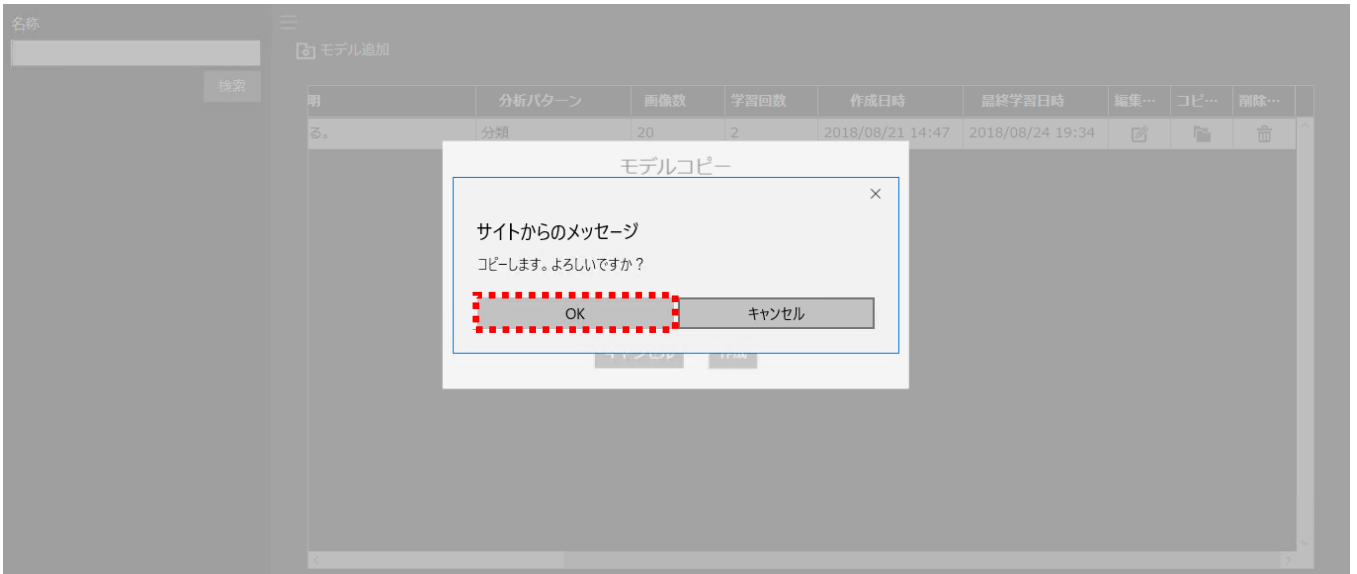


- ② 表示された[モデルコピー]ダイアログの“名称”と“説明”を必要に応じて変更し、<作成> ボタンをクリックします。

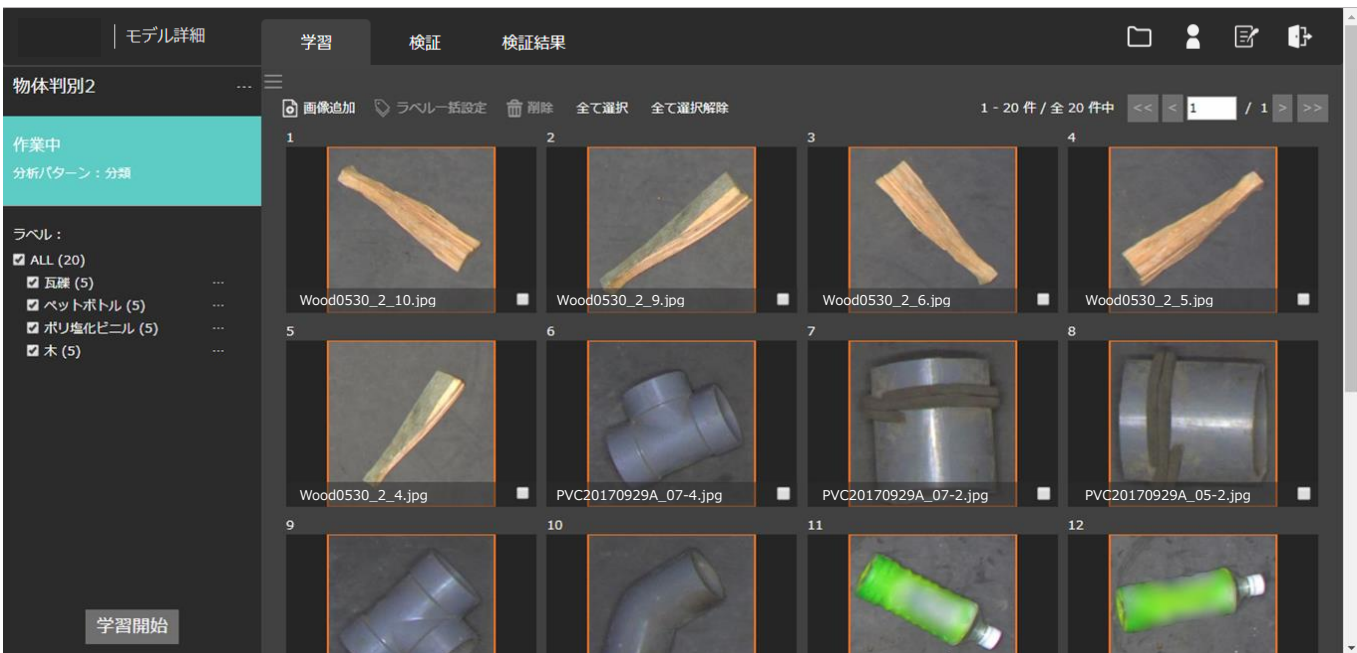
※分析パターンを変更することはできません。





- ③ <OK> をクリックするとモデルがコピーされ、[モデル詳細]画面の"学習"タブに遷移します。

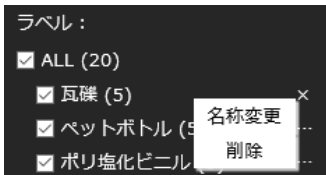


- ④ コピー対象は教師画像とラベルのみです。学習結果や検証結果はコピーされません。新規作成時と同様の手順で学習を行ってください。



### 7. 3 ラベル名称の一括変更や一括削除を行うには

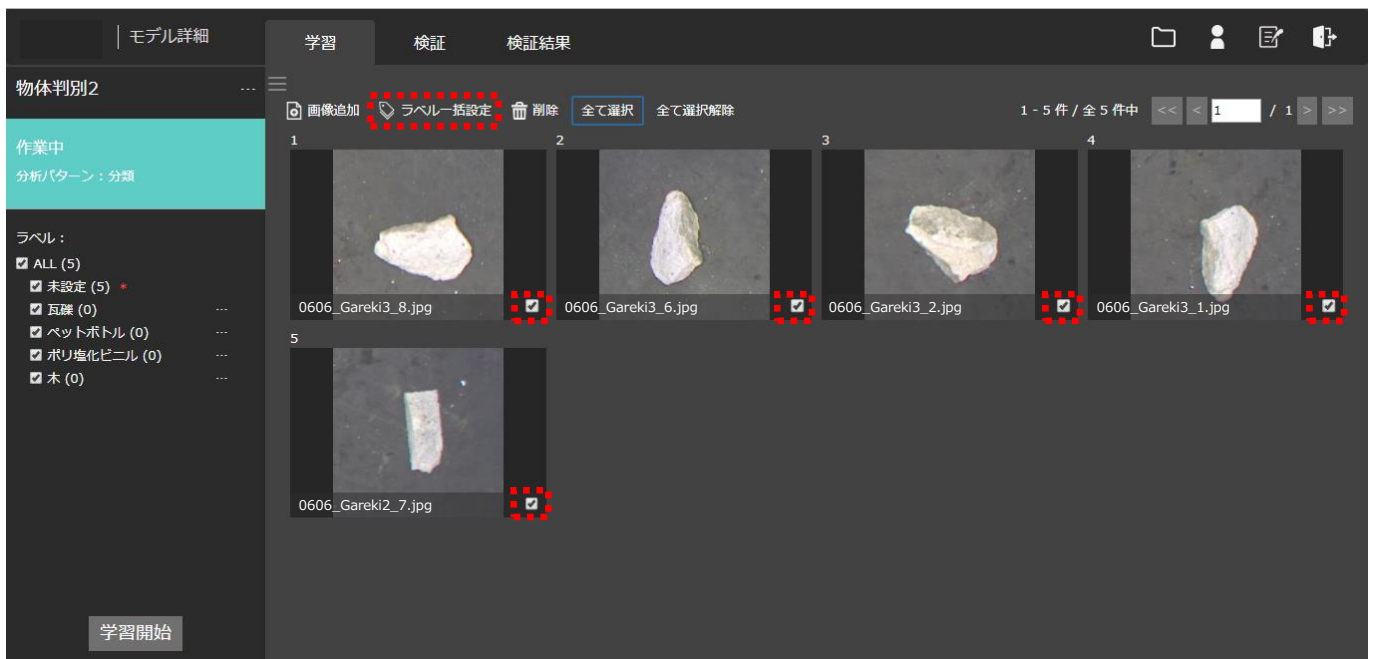
設定したラベルは、サイドメニュー部の“ラベル：”右側に表示されている  をクリックして表示されるメニューから、名称変更や削除を行うことができます。表示されたメニューは、 をクリックすることで閉じることができます。



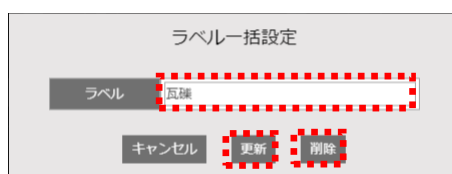
### 7. 4 複数画像へのラベル一括設定や一括削除を行うには

分析パターンが分類の場合、複数の画像に対し一括でラベル設定／設定ラベルの変更／ラベルの削除が可能です。

- ① [モデル詳細]画面の“学習”タブにて、ラベル操作したい画像のチェックボックスを ON にした上で、  
 <ラベル一括設定> ボタンをクリックします。



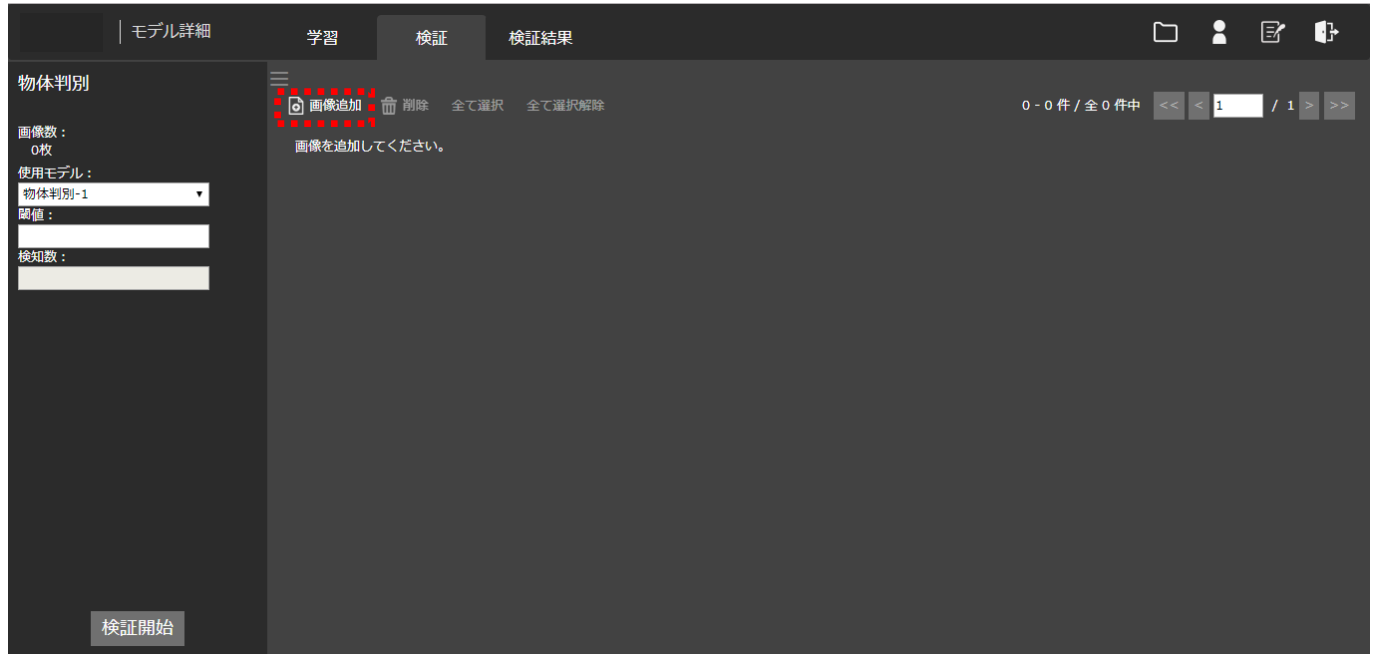
- ② ラベル一括設定ダイアログ内の“ラベル”を直接入力する事で、ラベルの新規追加と設定が可能となります。既に対象のモデルに対し登録済みのラベルを選択する事も可能です。  
 <更新> ボタンをクリックすることで、ラベルの一括設定ができます。  
 <削除> ボタンをクリックすると、ラベル未設定の状態に戻す事ができます。



## 第8章 モデル検証手順

学習したモデルを検証する手順について説明します。

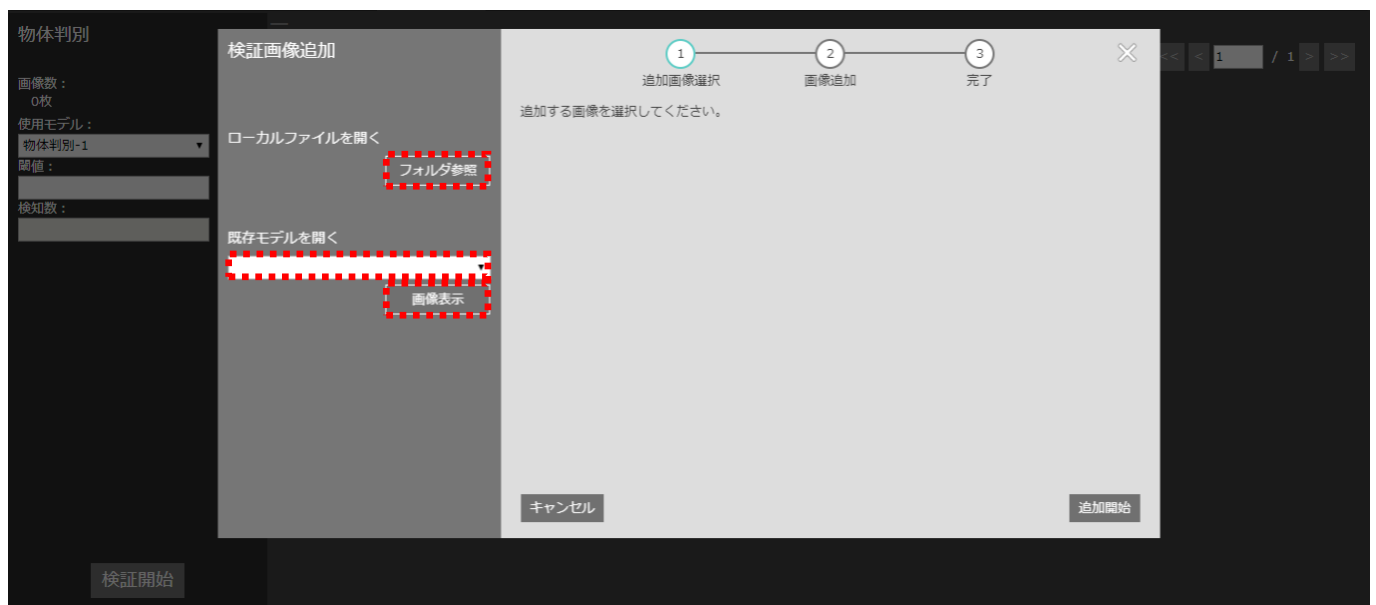
- ① [モデル詳細]画面の“検証”タブにて、<画像追加> ボタンをクリックし、検証画像を追加します。



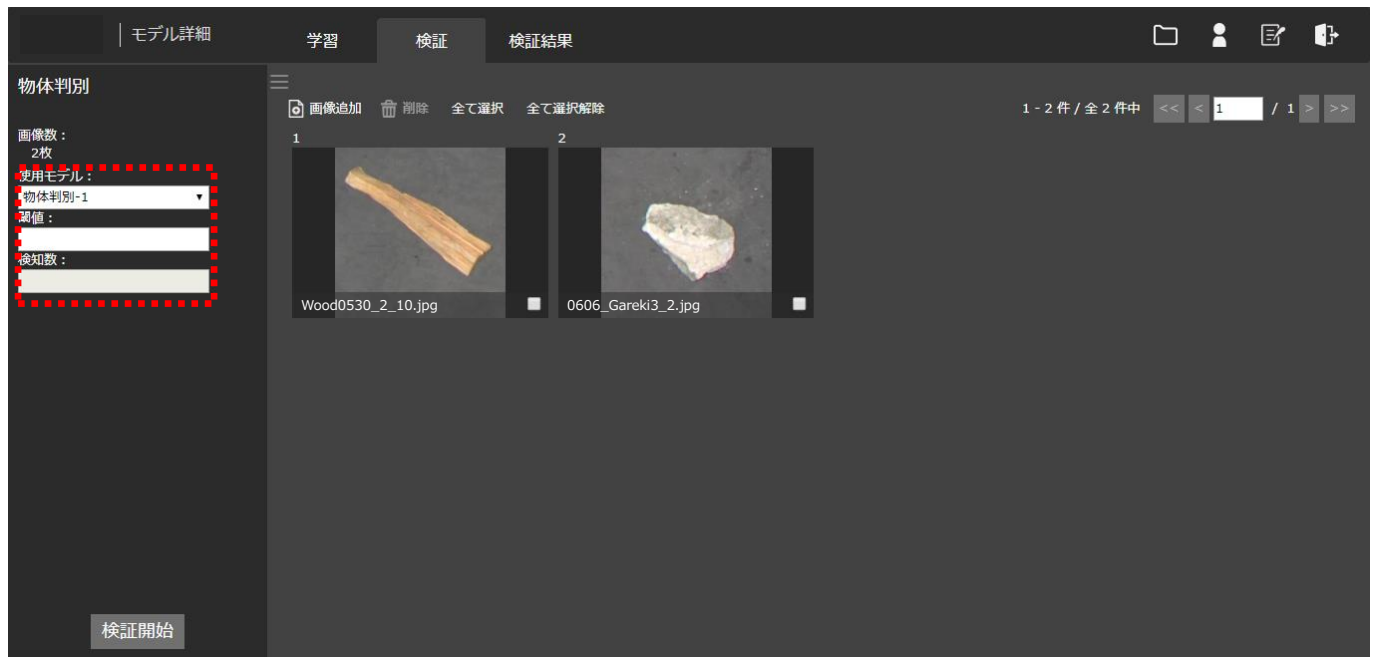
- ※ 教師画像と検証画像の撮影条件が異なる場合、認識精度に影響を与える可能性があります。学習に使用した画像と同様の条件で撮影した検証画像を使用してください。

- ② [検証画像追加]ダイアログが表示されるので、検証画像を追加します。

追加方法は教師画像と同様です。「7. 1 モデルを新規に作成するには」をご参照ください。



③ 検証画像の追加が完了したら、検証したいモデルの選択、及びパラメーターの入力を行います。



入力するパラメーターは、分析パターンにより異なります。

分析パターン	閾値	検知数
分類	結果で得られたスコアが入力した閾値以上となるラベルを[モデル詳細]“検証結果”タブでの結果表示の表示対象とします。	-
物体検知 セグメンテーション	結果で得られたスコアが入力した閾値以上となる箇所を検知します。	画像 1 枚あたりに検知する物体の最大数を入力します。

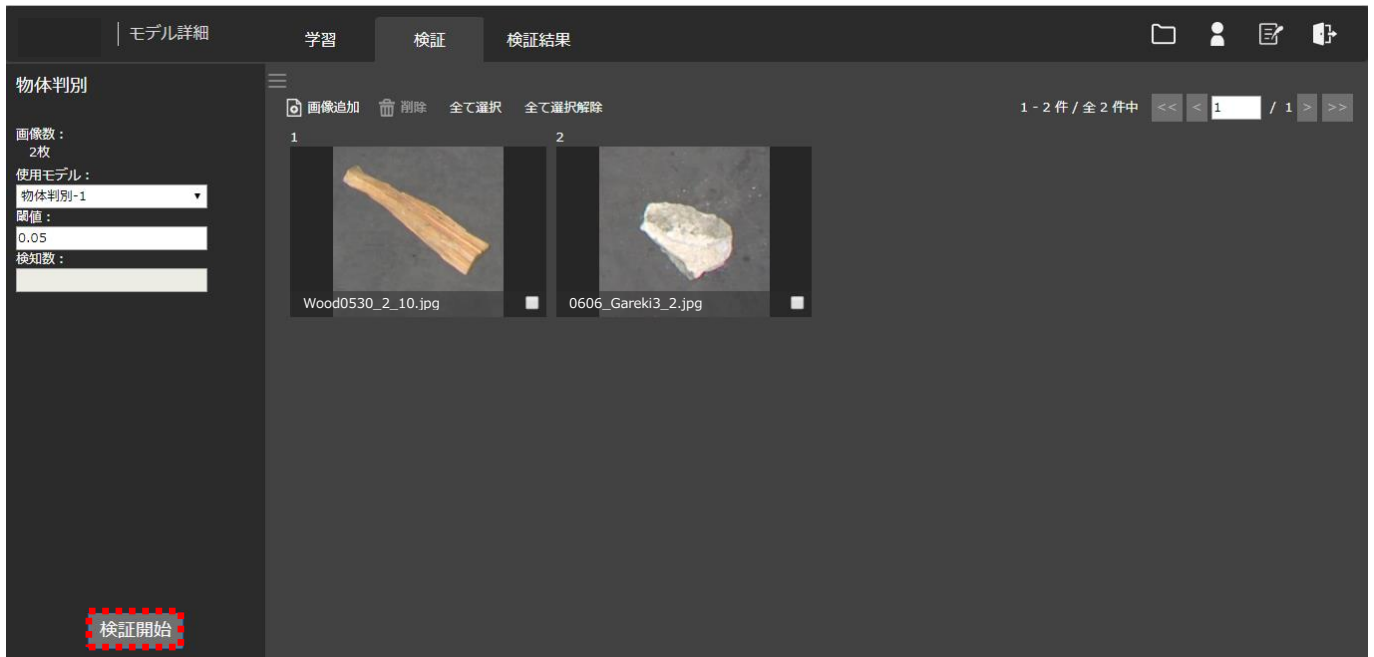
※ 閾値

- ・ 値は 0~1 の小数点以下桁数 3 桁以内で入力してください。
- ・ [モデル詳細(検証結果)]画面でも動的に変更することができます。再度<検証開始>を実行する必要はありません。

※ 検知数

- ・ 値は 1~1000 の範囲で入力してください。
- ・ [モデル詳細(検証結果)]画面で動的に変更することはできません。変更後の数値での結果を確認したい場合は、再度<検証開始>を実行してください。

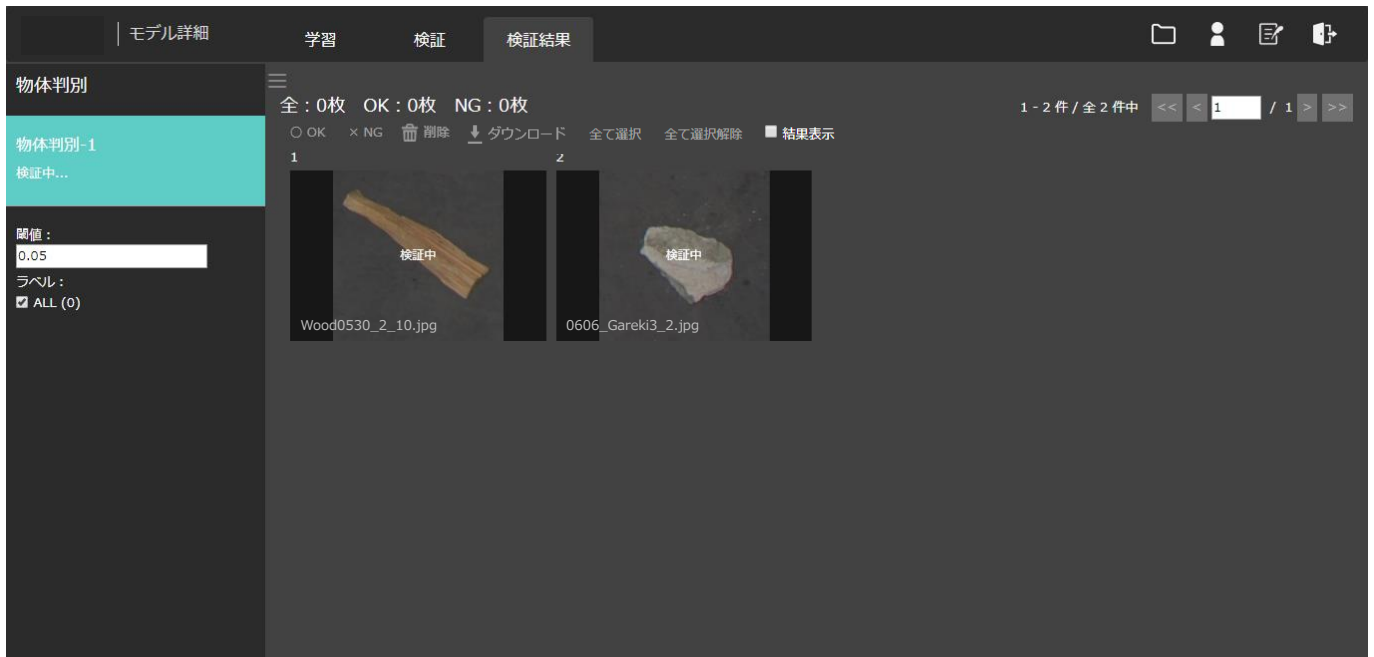
- ④ <検証開始> ボタンをクリックします。



- ⑤ メッセージが表示されるので、<OK> ボタンをクリックします。  
ボタンクリック後、[モデル詳細]画面の“検証結果”タブに遷移します。



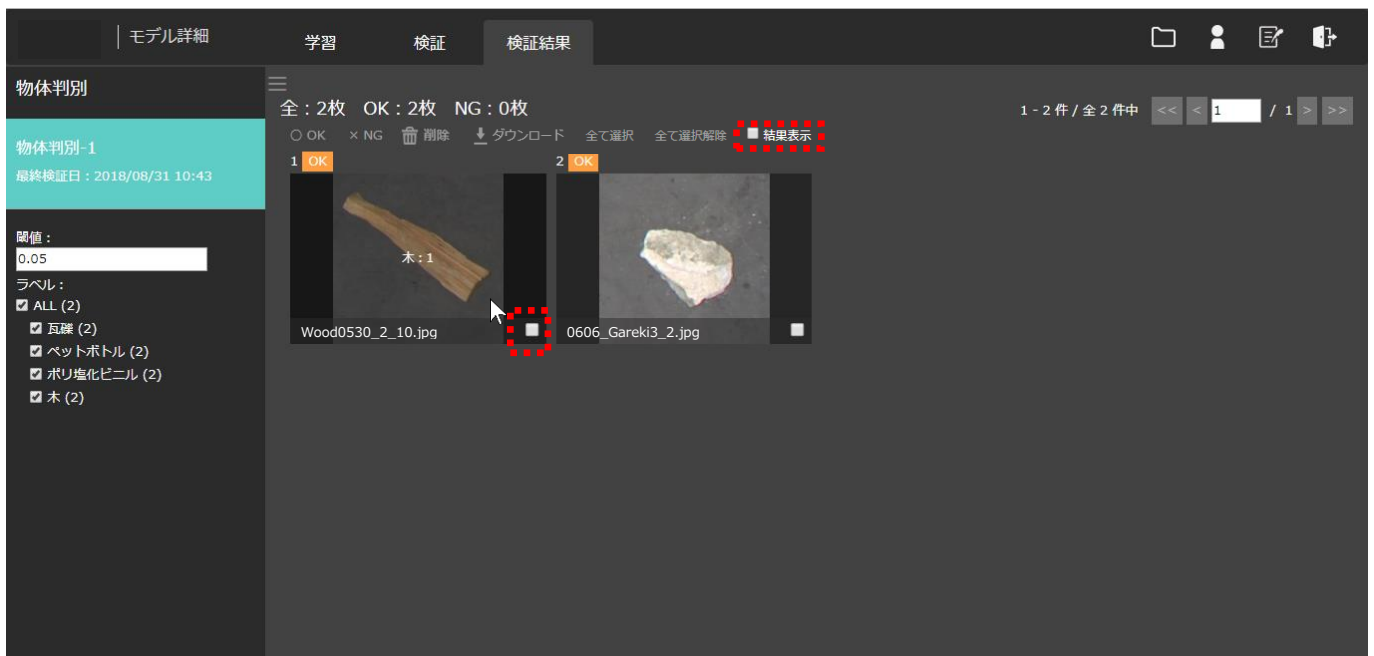
⑥ 検証が終わるまで、しばらくお待ちください。



⑦ 検証が終わった画像から順番に結果が表示されます。

※画面の自動更新は行いません。手動で画面を更新し、完了を確認してください。

画像をマウスオーバー、または“結果表示”チェックボックスにチェックを入れることで、結果を確認することができます。



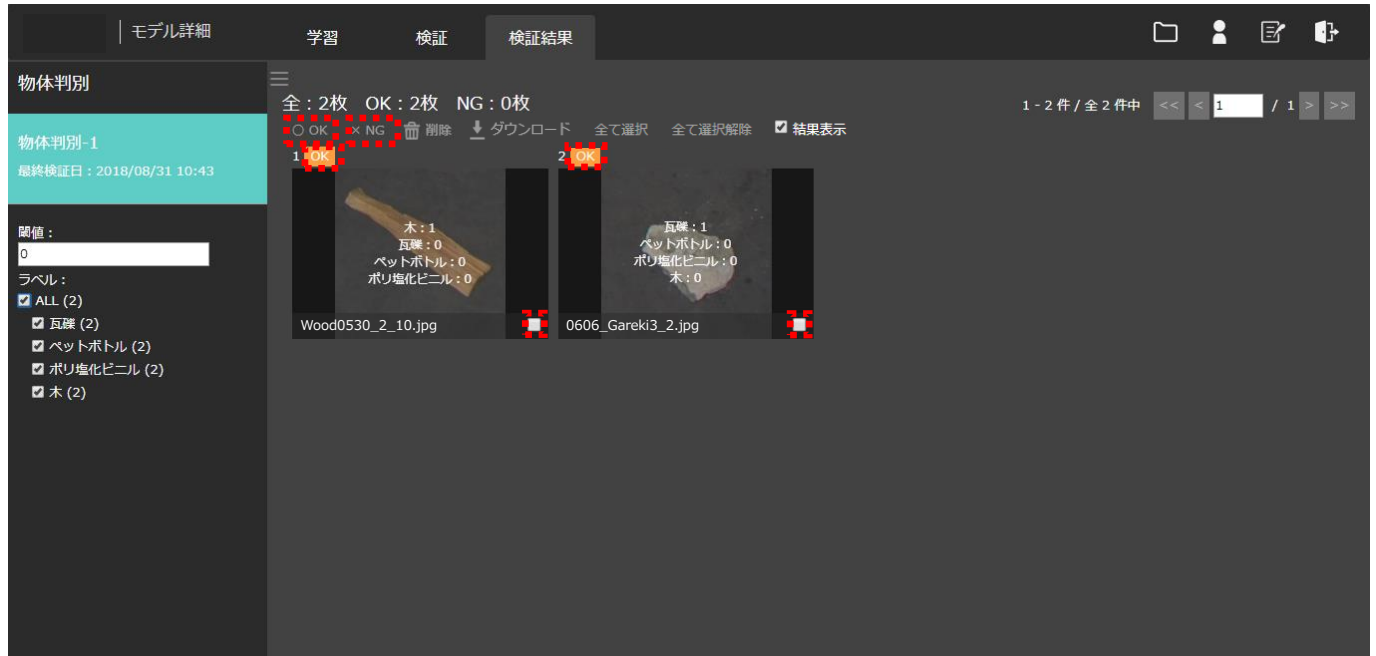


⑧ 検証結果を確認し、その結果が正しいかどうかを“OK”、“NG”で残すことができます。

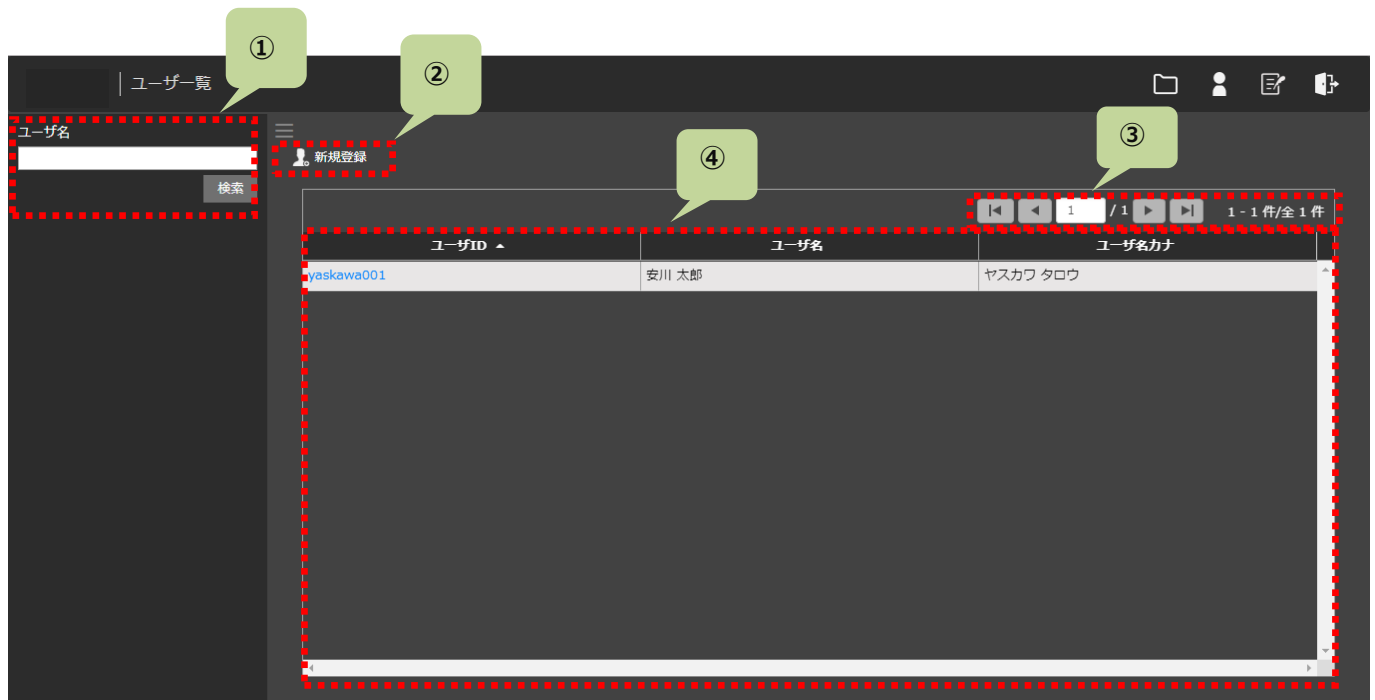
画像上部の<OK> <NG> ボタンをクリックすると、結果が反転されます。

また、一括して OK/NG を変更したい場合は、変更したい画像のチェックボックスにチェックを入れ、

<○ OK> ボタン、または<× NG> ボタンをクリックします。



## 第9章 ユーザー一覧画面



領域	項目名	属性	説明
①	ユーザー名検索	入力	検索したいユーザ名をテキストボックスに入力し、<検索> ボタンをクリックすることで、④に一覧表示させるユーザを絞り込むことができます。
		操作	
②	ユーザー新規登録	操作	クリックすると[ユーザ情報]ダイアログが開き、必要項目を入力することでユーザを新規に追加することができます。詳細については「10. 1 ユーザを新規に作成するには」をご参照ください。
③	表示件数	表示	検索結果の現在表示件数、総件数、現在表示ページを表示します。一覧の1 ページ分の画像表示件数は20件となります。
		入力	また、<先頭ページ> / <1 つ前のページ> / <1 つ先のページ> / <最終ページ> を押下するか、またはページ番号指定テキストボックスを入力することにより、表示するページを指定できます。
		操作	

④	ユーザー一覧表示	表示	作成されたユーザを一覧形式で表示します。タイトル行をクリックすることで昇順/降順で並び替えすることができます。	
			ユーザ ID	ユーザ作成時に入力したユーザ ID を表示します。こちらが、[ログイン] 画面で入力する "User ID" となります。 クリックすることで[ユーザ情報]ダイアログに遷移し、ユーザの詳細事項を設定・確認することができます。
		操作	ユーザ名	ユーザ作成時に入力したユーザの姓・名を表示します。
			ユーザ名カナ	ユーザ作成時に入力したユーザのセイ・メイを表示します。

## 第10章 ユーザ作成手順

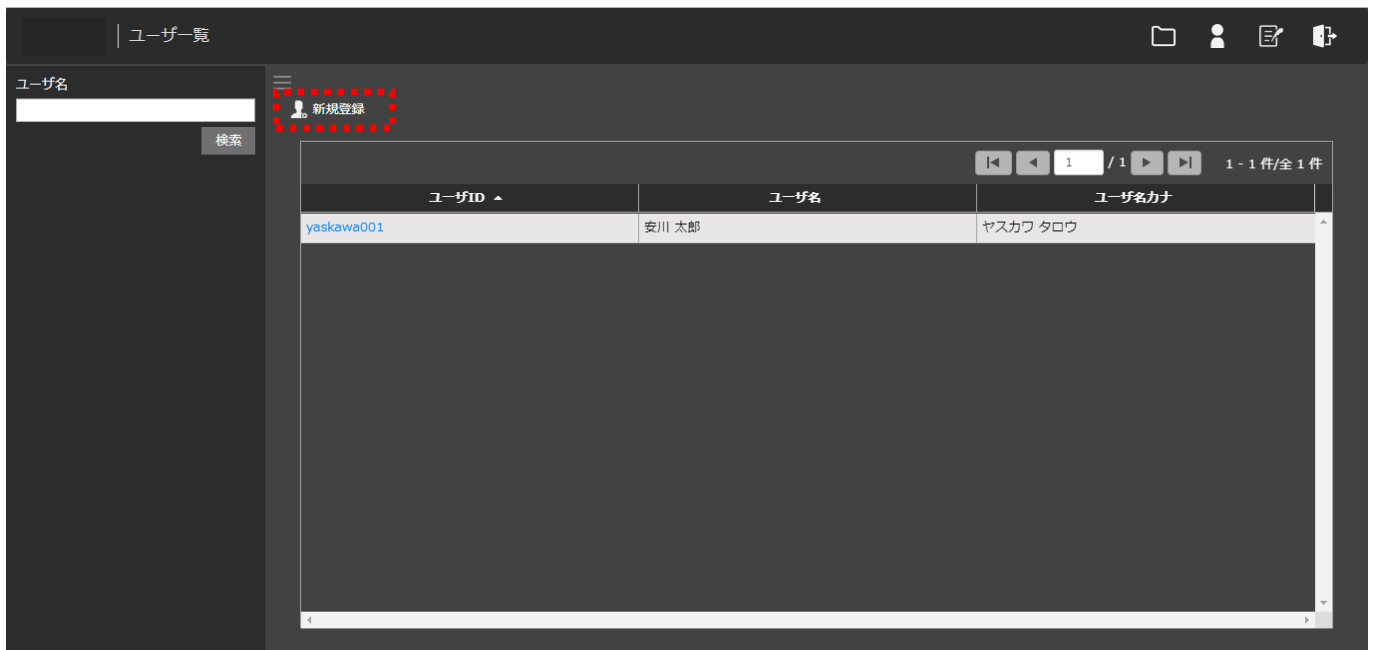
### 10.1 ユーザを新規に作成するには

ここでは新規にユーザを作成する手順について説明します。

- ① 画面右上の<ユーザ>をクリックします。



- ② [ユーザー一覧]画面にて、<新規登録>ボタンをクリックします。



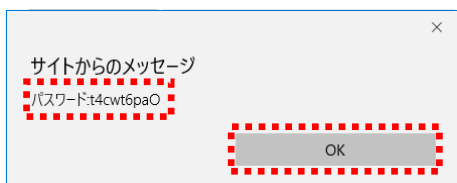
- ③ 表示された[ユーザ情報]ダイアログの各項目に必要事項を入力し、＜登録＞ボタンをクリックします。  
登録を中止したい場合は、＜閉じる＞ボタンを押下します。



- ④ ＜OK＞をクリックするとユーザが作成されます。  
この後、初期パスワードが発行されますので、忘れないようにしてください。



- ⑤ パスワードを確認したら＜OK＞をクリックします。  
パスワード変更したい場合は、「10. 2 ユーザ情報を編集するには」を参照ください。



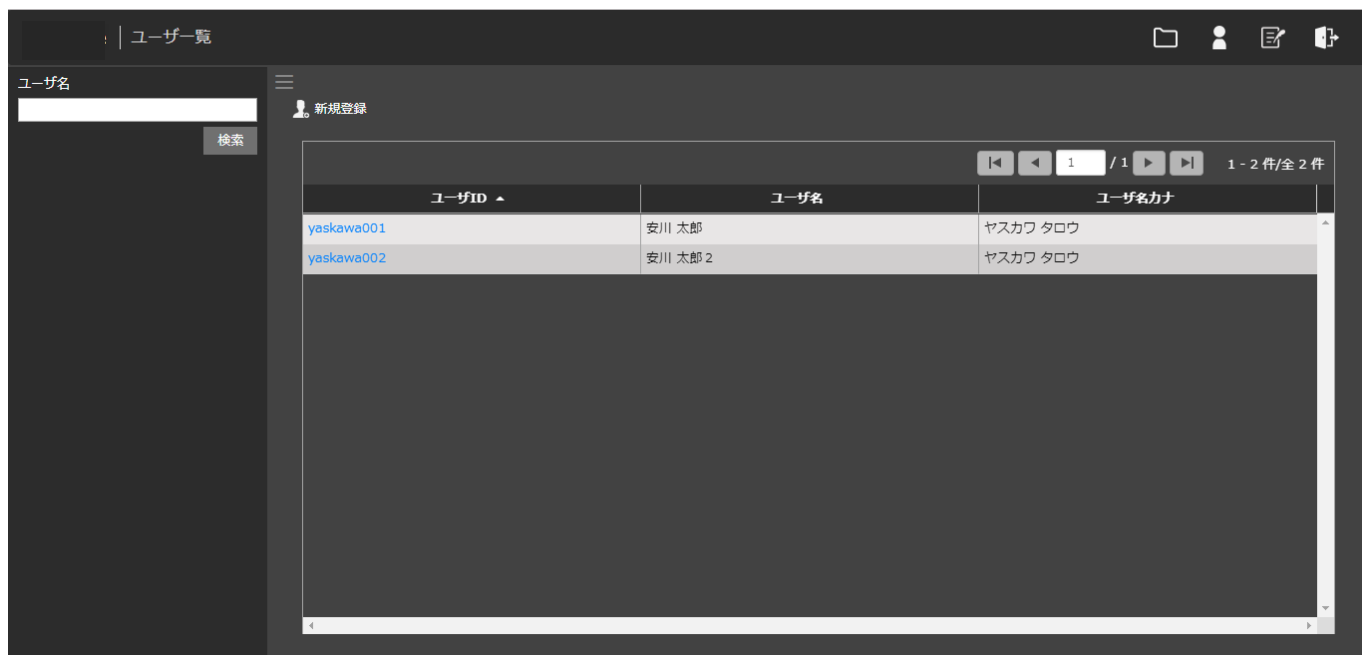
**注意)**

パスワードを忘れた場合はシステム管理者にパスワード再発行を依頼してください。

パスワード再発行の手順は

「10. 3 【システム管理者のみ】他ユーザのパスワード再発行、ユーザ情報削除するには」  
を参照ください。

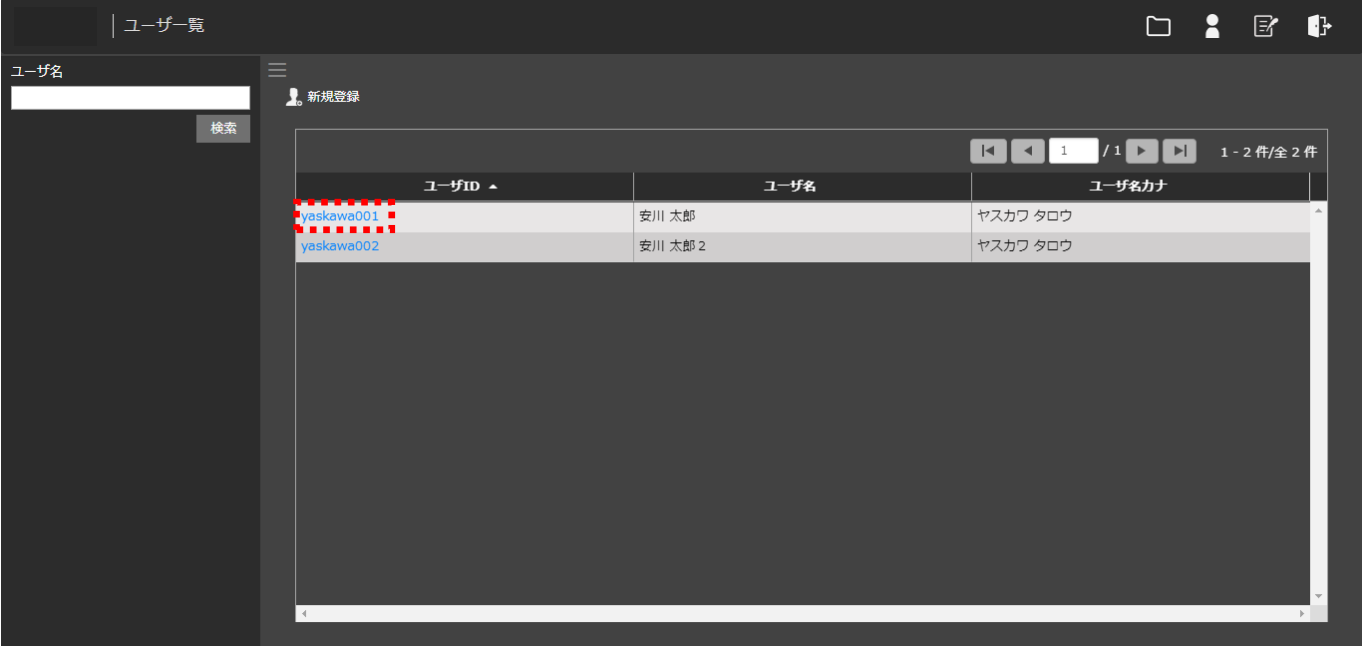
⑥ <OK> をクリックすると[ユーザー一覧]画面に遷移します。



## 10.2 ユーザ情報を編集するには

ここではユーザ情報の編集方法について説明します。

- ① [ユーザー一覧]画面にて、ユーザIDのリンクをクリックします。



The screenshot shows a web application interface for user management. On the left, there is a search bar labeled 'ユーザー名' and a '検索' button. The main area displays a table with the following data:

ユーザID	ユーザ名	ユーザ名カナ
yaskawa001	安川 太郎	ヤスカワ タロウ
yaskawa002	安川 太郎2	ヤスカワ タロウ

The first row is highlighted, and the user ID 'yaskawa001' is highlighted with a red dashed box. The interface also includes a '新規登録' button and pagination controls showing '1 / 1' and '1 - 2 件 / 全 2 件'.

② ①にて選択したユーザ ID がログインユーザか他のユーザかによって、表示項目が変わります。

1. ログインユーザの場合

パスワードを再度自動生成したい場合は、〈パスワード再発行〉ボタンをクリックすると、パスワードが変更され、自動生成されたパスワードが表示されます。

その他項目の編集をしたい場合、またはパスワードをご自身で設定したい場合は、〈編集〉ボタンをクリックします。

ユーザ情報

ユーザID	yaskawa001
ユーザ名 (姓)	安川
ユーザ名 (名)	太郎
ユーザ名 (セイ)	ヤスカワ
ユーザ名 (メイ)	タロウ
パスワード	パスワード再発行

編集 閉じる

2. 他ユーザの場合

ユーザの詳細情報参照が可能です。編集したい場合は〈編集〉ボタンをクリックします。

ユーザ情報

ユーザID	yaskawa002
ユーザ名 (姓)	安川
ユーザ名 (名)	太郎 2
ユーザ名 (セイ)	ヤスカワ
ユーザ名 (メイ)	タロウ


編集 閉じる



③ ①にて選択したユーザがログインユーザか他のユーザかによって、編集可能項目が変わります。

1. ログインユーザの場合

“ユーザ名 (姓/名)”、“ユーザ名 (セイ/メイ)”、“パスワード”の編集が可能です。  
変更を反映する場合は、<更新> ボタンをクリックします。



ユーザ情報	
ユーザID	yaskawa001
ユーザ名 (姓)	安川
ユーザ名 (名)	太郎
ユーザ名 (セイ)	ヤスカフ
ユーザ名 (メイ)	タロウ
パスワード	
パスワードの再入力	
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

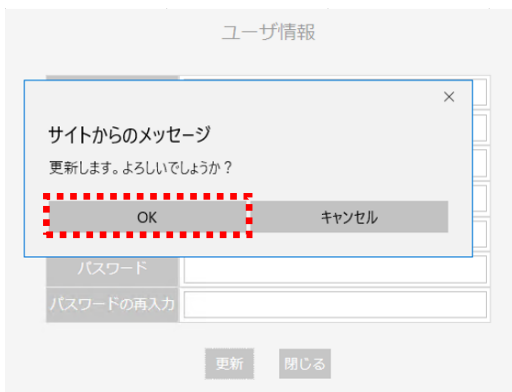
2. 他ユーザの場合

“ユーザ名 (姓/名)”、“ユーザ名 (セイ/メイ)”の編集が可能です。  
変更を反映する場合は、<更新> ボタンをクリックします。



ユーザ情報	
ユーザID	yaskawa002
ユーザ名 (姓)	安川
ユーザ名 (名)	太郎2
ユーザ名 (セイ)	ヤスカフ
ユーザ名 (メイ)	タロウ
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

④ 更新確認メッセージが表示されますので、<OK> をクリックすると反映完了し、  
[ユーザー一覧]画面に遷移します。



ユーザ情報	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>サイトからのメッセージ</p> <p>更新します。よろしいでしょうか?</p> <p style="text-align: center;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </p> </div>	
パスワード	
パスワードの再入力	
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

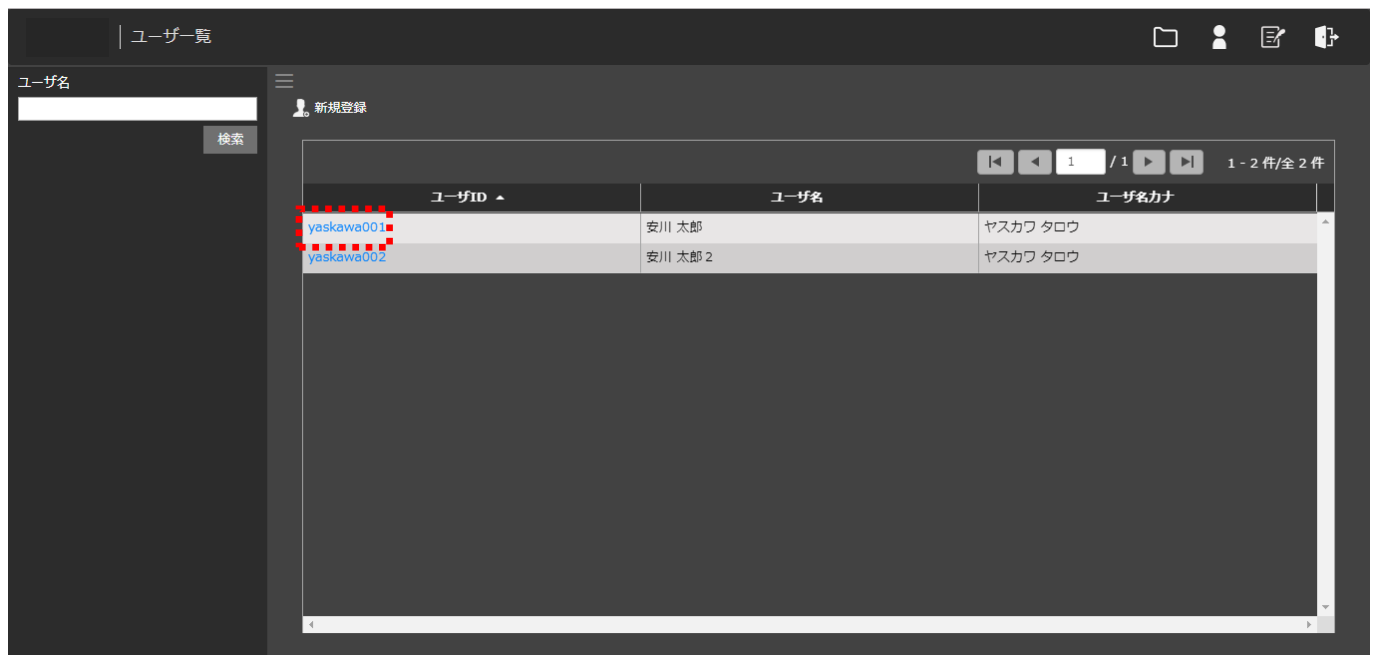
### 10.3 【システム管理者のみ】他ユーザのパスワード再発行、ユーザ情報削除するには

ここではパスワード再発行、ユーザ情報削除の方法について説明します。

ログインユーザ以外のユーザアカウントのパスワード再発行、ユーザ情報の削除は、システム管理者ユーザでのみ可能となります。

システム管理者ユーザのアカウント情報は、MMEye/Y's-Eye 契約時に弊社から通知されたものをご使用ください。

- ① システム管理者ユーザでログインし、[ユーザー一覧]画面にて、対象のユーザ ID をクリックします。



- ② [ユーザ情報]画面にて、<パスワード再発行> ボタンを押下する事でパスワードの再発行が、<削除> ボタンを押下する事でユーザ情報の削除ができます。

ユーザ情報

ユーザID	yaskawa001
ユーザ名 (姓)	安川
ユーザ名 (名)	太郎
ユーザ名 (セイ)	ヤスカワ
ユーザ名 (メイ)	タロウ
パスワード	パスワード再発行

※ ログインユーザ自身のユーザ情報は削除できません。

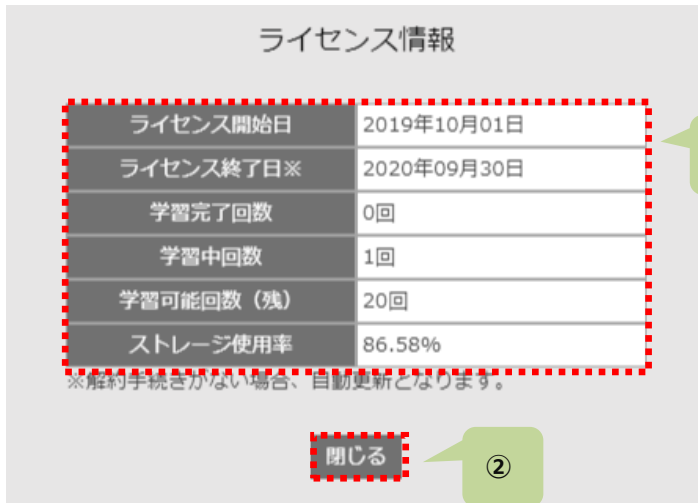
## 第 1 1 章 ライセンス情報

### 1 1. 1 ライセンス確認操作

- ① 画面右上の<ライセンス>をクリックします。



- ② [ライセンス情報]画面がダイアログ表示されます。



領域	項目名	属性	説明												
①	ライセンス情報表示	表示	<p>現状のライセンス情報を表形式で表示します。</p> <table border="1"> <tr> <td>ライセンス開始日</td> <td>現時点で適用されているライセンスの開始日を表示します。 ※解約のお手続きがない場合、“ライセンス終了日”到達後に新たなライセンス（開始日）に更新されます</td> </tr> <tr> <td>ライセンス終了日</td> <td>現時点で適用されているライセンスの終了日を表示します。 ※解約のお手続きがない場合、“ライセンス終了日”到達後に新たなライセンス（終了日）に更新されます</td> </tr> <tr> <td>学習完了回数</td> <td>“ライセンス開始日”～“ライセンス終了日”の期間で、学習が完了した回数が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>学習中回数</td> <td>現時点で学習中の学習回数が表示されます ※同一モデルに対し、複数回学習を実施している場合も、各々にカウントされます</td> </tr> <tr> <td>学習可能回数（残）</td> <td>“ライセンス開始日”～“ライセンス終了日”の期間で学習可能な残り回数を表示します。</td> </tr> <tr> <td>ストレージ使用率</td> <td>既に登録済みのデータサイズが使用可能なデータ領域に占める割合を表示します。</td> </tr> </table>	ライセンス開始日	現時点で適用されているライセンスの開始日を表示します。 ※解約のお手続きがない場合、“ライセンス終了日”到達後に新たなライセンス（開始日）に更新されます	ライセンス終了日	現時点で適用されているライセンスの終了日を表示します。 ※解約のお手続きがない場合、“ライセンス終了日”到達後に新たなライセンス（終了日）に更新されます	学習完了回数	“ライセンス開始日”～“ライセンス終了日”の期間で、学習が完了した回数が表示されます。	学習中回数	現時点で学習中の学習回数が表示されます ※同一モデルに対し、複数回学習を実施している場合も、各々にカウントされます	学習可能回数（残）	“ライセンス開始日”～“ライセンス終了日”の期間で学習可能な残り回数を表示します。	ストレージ使用率	既に登録済みのデータサイズが使用可能なデータ領域に占める割合を表示します。
			ライセンス開始日	現時点で適用されているライセンスの開始日を表示します。 ※解約のお手続きがない場合、“ライセンス終了日”到達後に新たなライセンス（開始日）に更新されます											
			ライセンス終了日	現時点で適用されているライセンスの終了日を表示します。 ※解約のお手続きがない場合、“ライセンス終了日”到達後に新たなライセンス（終了日）に更新されます											
			学習完了回数	“ライセンス開始日”～“ライセンス終了日”の期間で、学習が完了した回数が表示されます。											
			学習中回数	現時点で学習中の学習回数が表示されます ※同一モデルに対し、複数回学習を実施している場合も、各々にカウントされます											
			学習可能回数（残）	“ライセンス開始日”～“ライセンス終了日”の期間で学習可能な残り回数を表示します。											
			ストレージ使用率	既に登録済みのデータサイズが使用可能なデータ領域に占める割合を表示します。											
②	閉じる	操作	クリックでダイアログを閉じ、表示元画面を最前面表示します。												

## 第12章 ログアウト

システムを使用しないときはログアウトします。

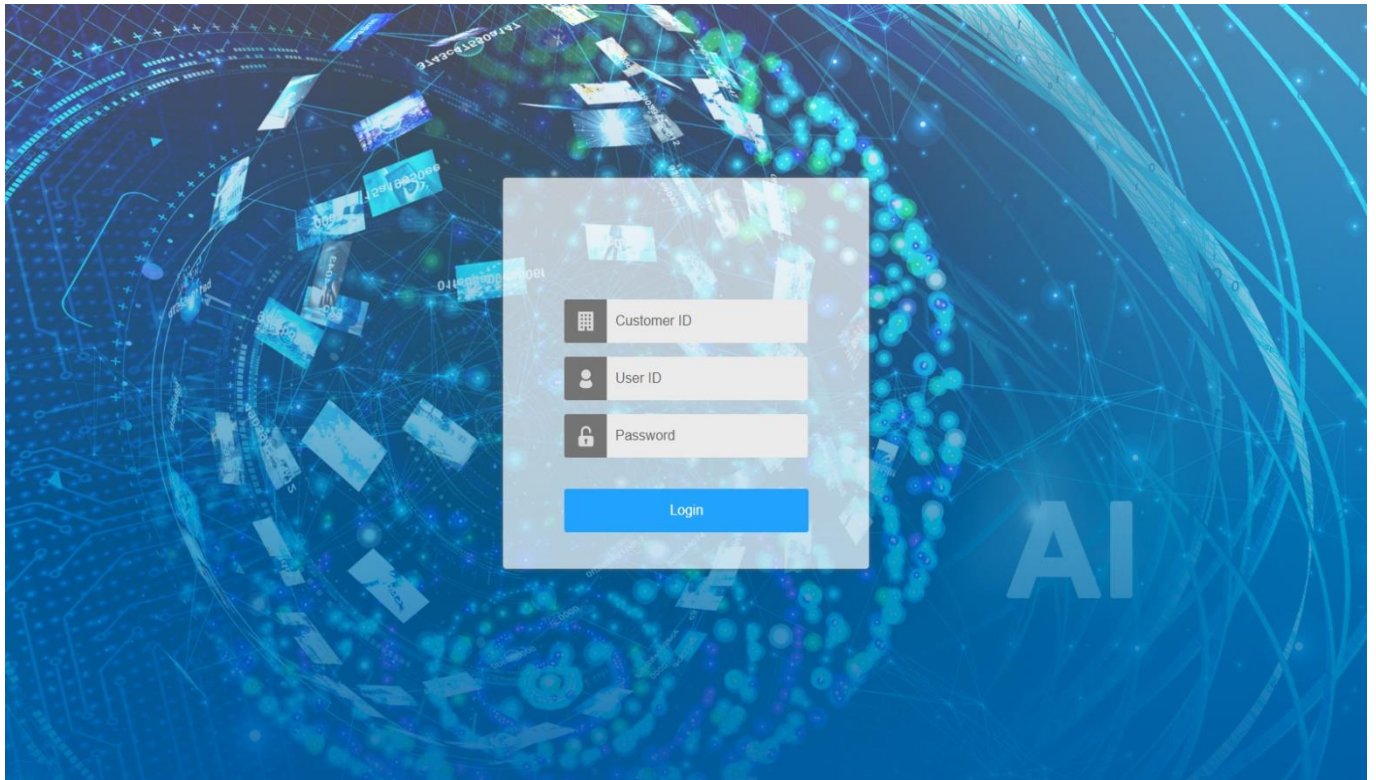
### 12.1 ログアウト操作

ログインして無操作の状態が 30 分続くと自動的にセッションが切れログアウトされます。以下、ユーザが意識してログアウトする手順を説明します。

- ① 共通ヘッダー部から<ログアウト>をクリックします。



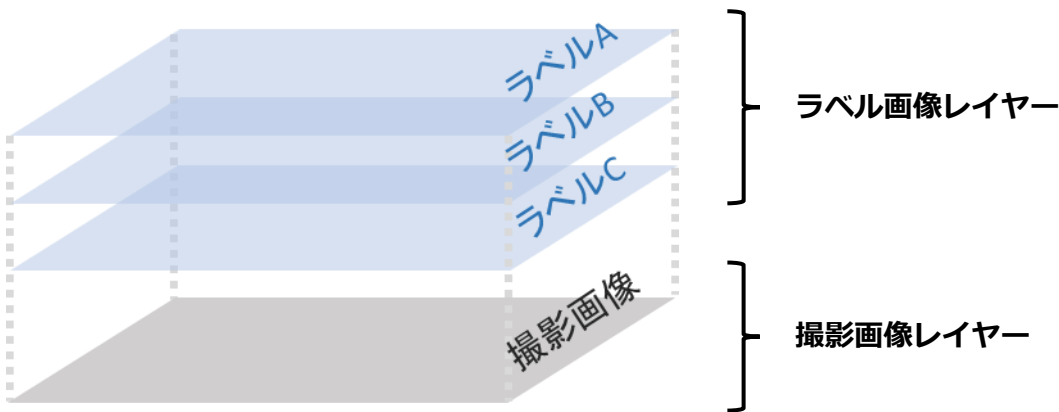
- ② [ログイン]画面が表示されます。再度システムを利用したい場合は、ログインしてください。



## 付録1 セグメンテーション学習画像作成手順

分析パターン：セグメンテーションのモデル作成を行う場合、あらかじめラベル情報付きの学習画像を作成する必要があります。

ラベル情報付き学習画像は複数枚のレイヤーで構成されます。最下層のレイヤーには撮影画像を配置し、その上に各ラベルの対象物が写り込んでいる位置を表すラベル画像を配置します。



MMEyeへ登録可能なレイヤー情報付き学習画像の条件は以下の通りです。

<b>フォーマット</b>	PSD (Photoshop Document)
<b>登録条件</b>	<p>下記の条件を全て満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少なくとも1枚のレイヤーを含むこと</li> <li>レイヤーの総枚数が20枚以内であること</li> <li>同じレイヤー名称を持つレイヤーが存在しないこと</li> <li>レイヤー名称に以下の禁則文字を含むレイヤーが存在しないこと 「[」, 「&lt;」, 「&gt;」, 「:」, 「/」, 「"」, 「'」, 「*」, 「.」, 「?」, 「 」, 「¥」, 「#」, 「,」, 「】」</li> <li>33字以上のレイヤー名称を持つレイヤーが存在しないこと</li> <li>全てのレイヤーが同一のサイズであること</li> <li>撮影画像の解像度が512×512以上、2048×1536以内であること</li> <li>アップロード時のファイルサイズが50MB以内であること</li> </ul>

以降の記載にて、レイヤー情報付き学習画像の作成手順を説明します。

学習画像の作成に使用するペイントソフトは、GIMP（GNU Image Manipulation Program）を推奨します。  
 あらかじめ公式サイト（<https://www.gimp.org/>）よりダウンロード／インストールの上、以降の手順へお進みください。

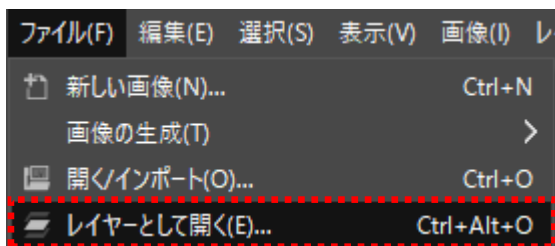
推奨以外のペイントソフトを使用した場合、

- ・ 学習画像の取込に失敗する
- ・ ラベル名称およびレイヤー名称で文字化けが発生する

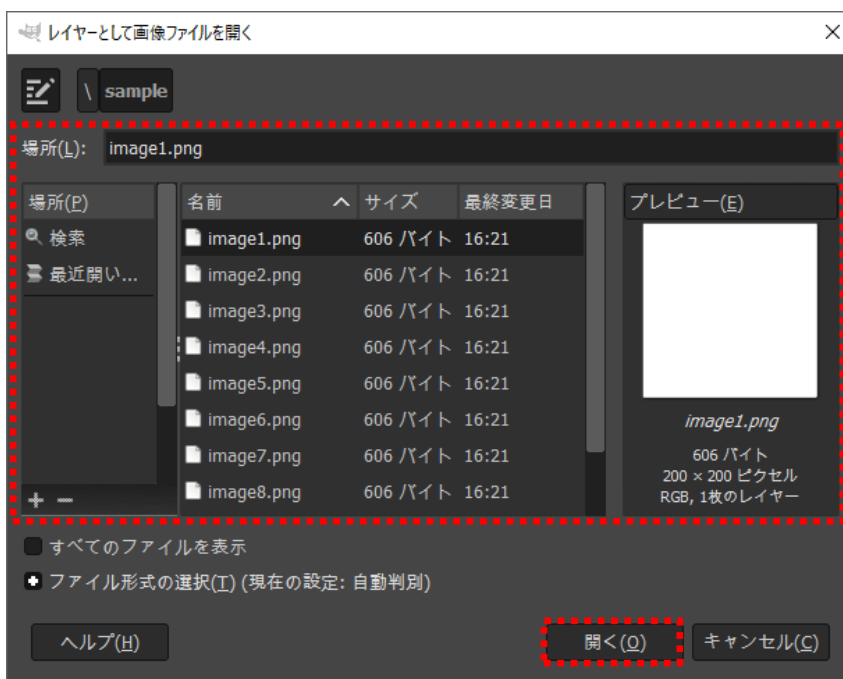
等の不具合が発生する恐れがあるためご注意ください。

### ① 撮影画像のインポート

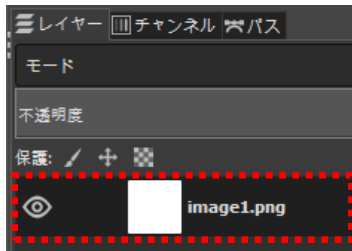
GIMP を起動した後、メニューバーより「ファイル > レイヤーとして開く」を選択し、「レイヤーとして画像ファイルを開く」ダイアログを開きます。



次に、使用する撮影画像を選択し「開く」ボタンをクリックします。



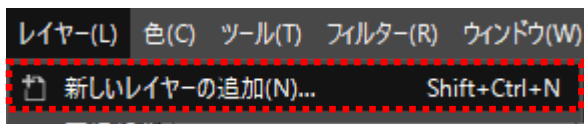
インポート後にファイル名と同名のレイヤーが追加され、撮影画像が表示されます。



## ② ラベル画像用レイヤーの作成

各ラベルの対象物が写り込んでいる領域を表す、ラベル画像用のレイヤーを作成します。

メニューバーより「レイヤー > 新しいレイヤーの追加」を選択し、「新しいレイヤー」ダイアログを開きます。





その後、<レイヤー名>欄にレイヤー名称を入力し、レイヤーの幅/高さが ① でインポートした画像のサイズと同じであることを確認し、<OK> ボタンをクリックします。

※ 入力したレイヤー名称は、MMEye への登録時にラベル名称として使用されます。

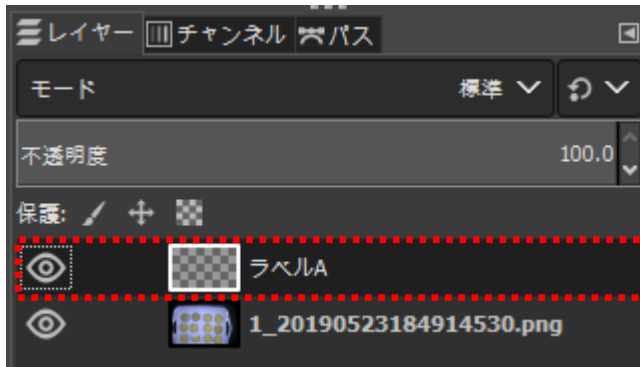
ファイル毎に表記が異なる場合はそれぞれ別のラベルとして登録されるため、表記揺れが無いようご注意ください。

※ 撮影画像レイヤーとラベル画像レイヤーのサイズが異なる場合、MMEye への登録時にエラーが発生します。学習画像の作成時は全レイヤーのサイズが同一になるようご注意ください。



## ③ ラベル領域の指定

作成したレイヤーを<レイヤー>タブで左クリックし、編集対象を変更します。  
その後、対象物が写り込んだ領域に着色し、対応するラベルの領域を指定します。



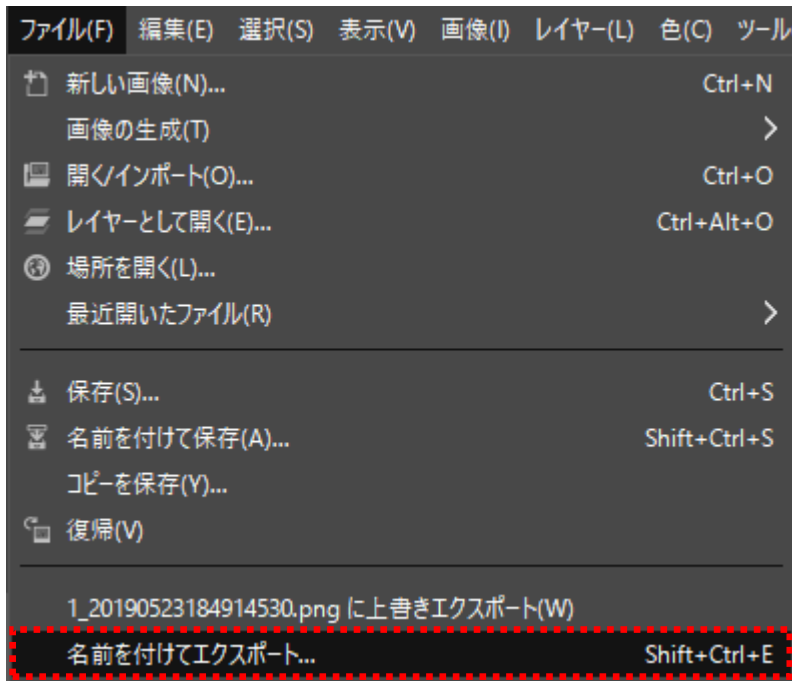
※ 使用する色は任意ですが、MMEyeへ登録した際にレイヤー毎の見分けをつきやすくするため、一つのラベルにつき一つの色を割り当てての着色を推奨します。



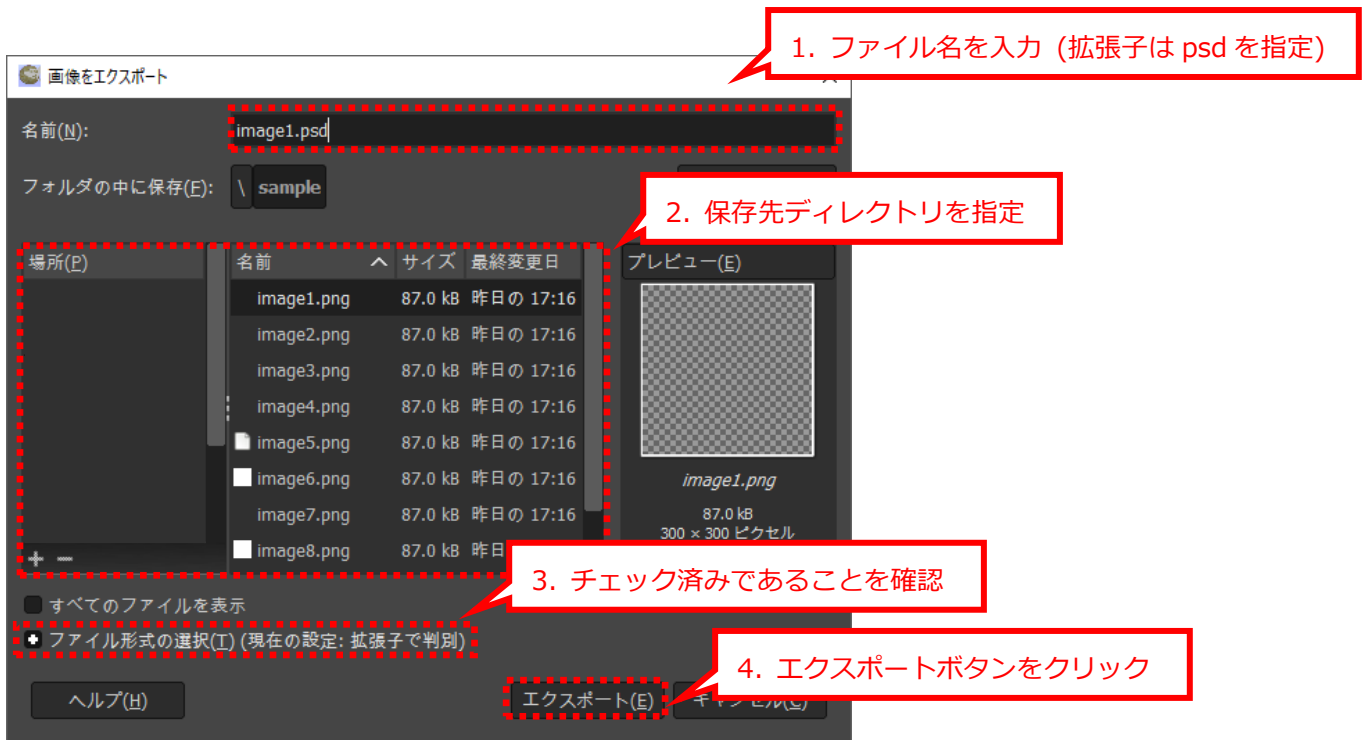
## ④ エクスポート

作成したレイヤー情報付きの撮影画像を PSD 形式でエクスポートします。

メニューバーより「ファイル > 名前を付けてエクスポート」を選択し、「画像をエクスポート」ダイアログを開きます。



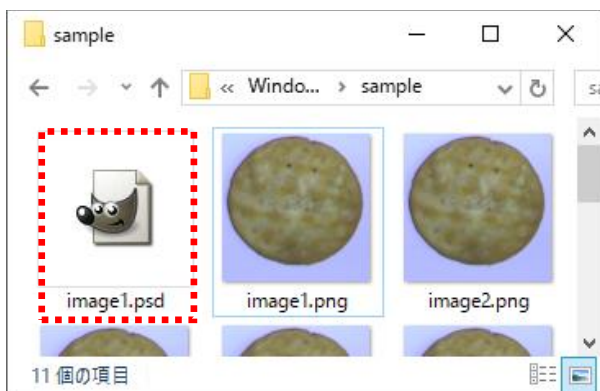
その後、任意の保存先を選択し、「エクスポート」ボタンをクリックします。



⑤ 出力結果確認

<エクスポート> ボタンをクリックした後、指定したディレクトリに PSD 形式ファイルが出力されます。出力されたファイルは、分析パターン：セグメンテーションのモデルへ学習画像として登録可能です。

※ 学習画像登録の詳細は「7. 1 モデルを新規に作成するには」をご参照下さい。



## 株式会社 YE DIGITAL

東京都港区芝五丁目36番7号 三田ベルジュビル9F 〒108-0014

TEL : (03)6865-8900 FAX : (03)6865-8903

URL: <https://www.ye-digital.com>

© 2018-2020 YE DIGITAL CORPORATION All Rights Reserved

### 技術的なお問い合わせ相談窓口

※クラウドサーバ、またはオンプレサーバ年間サポートをご契約中のお客様のみ、  
ご利用いただけます。

#### ● サポートセンター

Phone : (03)5500-7293

Email : [mmeye\\_support@ye-digital.com](mailto:mmeye_support@ye-digital.com)

月～金（祝祭日及び当社休業日は除く） / 9:00～12:00, 13:00～17:00

※Email は 24 時間受け付けております。